

関東甲信越地区 国立大学法人等

仕事紹介ガイドブック

2025



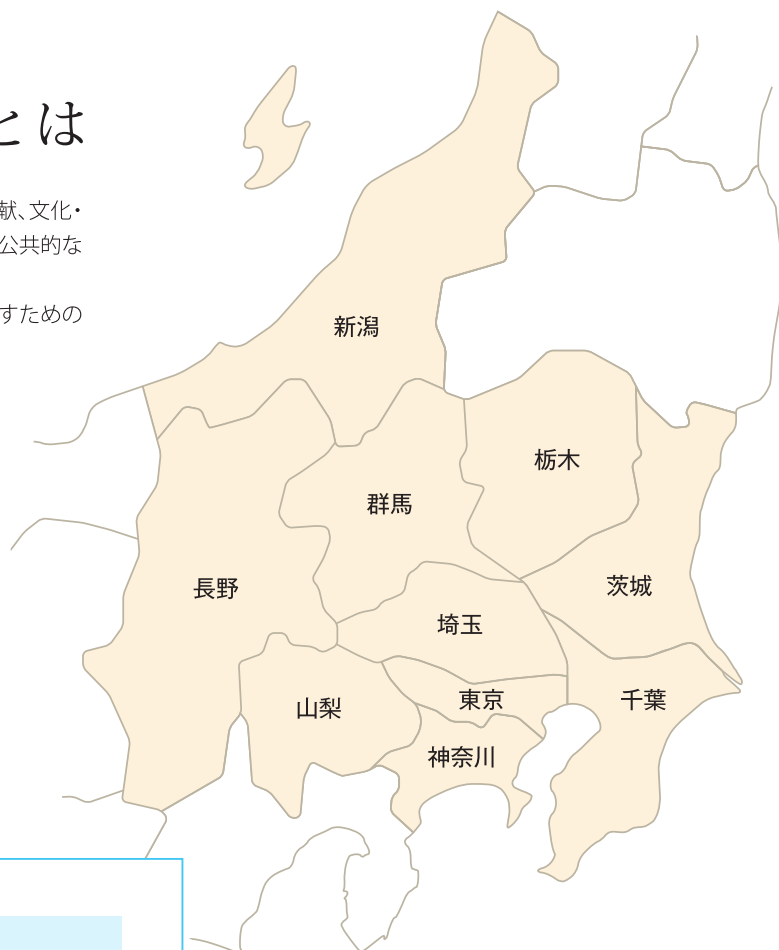
CONTENTS

- P 2 国立大学法人等とは
- P 6 私たちのフィールド
- P20 私たちのキャリア形成
- P24 私たちのワーク・ライフ・バランス
- P26 関東甲信越地区63機関紹介
- P38 採用試験プロセス
- P39 勤務条件・福利厚生

国立大学法人等とは

国立大学法人等は、教育、研究、地域貢献・国際貢献、文化・芸術振興を通じて、社会の発展に寄与するという公共的な役割を担っています。

各機関は個性と特色を発揮し、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。



国立大学法人

各国立大学は独立した法人格をもつ「国立大学法人」となりました。国が財政的に責任を持ちながら、自主・自律という大学の特性を活かした運営ができる新しいスタイルです。学術研究の一層の活性化はもとより、教育機能の強化や学生サービスの改善、あるいは、産学連携や地域貢献活動の充実などについて、それぞれの理念をより良く実現できるよう、自主性・自律性を生かした積極的な運営に取り組んでいます。

独立行政法人

国が直接行っていた公共的な事務・事業について、計画的・効率的な運営を行うことで、より良い行政サービスを提供しています。

独立行政法人 国立高等専門学校機構

国立高等専門学校（高専）は、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、5年間の一貫教育を行う高等教育機関として、全国に51校、設置されています。それぞれの高専が、自主・自律的に改革に取り組み、社会経済環境の変化に積極的に対応するとともに、高専機構という1つの法人として、スケールメリットを活かした戦略的・効率的な運営を行っています。

大学共同利用機関法人

大学共同利用機関は、法人化を契機に4つの機構に再編されました。各機構が設置した我が国を代表する中核的研究拠点である大学共同利用機関は、全国の大学の関連研究者のニーズに応え、海外の研究者とも連携を図りながら、最先端の研究領域において大型の実験観測施設・装置を開発し、貴重な学術情報・資料を集積し、これらの共同利用により効果的・先端的な共同研究を推進し、大学院教育や高度な研究者の育成に取り組んでいます。

特別な学校法人

法律に基づく特別な学校法人である放送大学学園が設置する大学です。

国立大学法人等のミッション

our mission

教育

高度な専門教育と多彩な
教養教育を通じて、
次世代を担い、
多様な分野で活躍する
人材を育成します。

研究

基礎的・基盤的研究から
独創的な応用研究まで、
各機関の強みや特性を
生かした研究を行い、
人類の発展を支えます。

地域貢献・国際貢献

地域の医療機関、
自治体、国内外の
教育研究機関と連携し、
地域振興や国際貢献活動の
中核的機能を果たします。

文化・芸術振興

貴重な芸術作品や
標本資料等の収集、保管、展示、
調査研究を行うことにより、
先人たちの残した貴重な
財産を将来世代に伝えます。

私たちの仕事

時間と空間を越えた貢献をします。

教育・研究機関の活動には、今すぐ役立つものはもちろんのこと、将来の社会を考えて行われている基礎的なものも多くあります。

また、そこで働くことは教育・研究そのものだけでなく、教育・研究をする人、広く社会の人々の生活・地域・時代すべてに対する貢献です。

私たち職員は、変化する社会を広く見つめ、自ら考え、向上心を持って、大学運営のスペシャリストとして、社会のニーズに合った教育、研究、組織運営を行っていきます。未来へ向け、職員として活躍できる場は無限大です。

教育・研究活動を推進する

- 学生の入学から卒業までをサポートします。学生がよりよいキャンパスライフを送るための支援を行います。
- 大学や機関の研究推進のための環境を整備します。基礎的・基盤的研究から独創的な応用研究まで、見えない部分で支援をします。

社会に貢献する

- 教育・研究活動を社会に発信したり、その成果や知的財産を社会に還元することで、社会を変えるイノベーションの創出に貢献します。
- 地域の医療機関、自治体、国内外の教育研究機関と連携し、地域振興、国際貢献活動の中核的役割を果たします。

機関を経営する

- 機関の理念や目標の実現に向けて「ヒト、モノ、カネ」の面から貢献します。
- 機関の経営戦略を企画し、その戦略を実行するための調整や役員の業務支援を行います。
- 情報システムや大学施設など機関の教育研究を支えるインフラづくりに貢献します。

業務内容

business content

各機関では、企画や運営に関わる仕事、学生や研究を支援する仕事、専門知識を活かす仕事など、人事異動により幅広い業務を経験し、多彩なフィールドで活躍することができます。あなたの活躍するフィールドはどれでしょう？

※なお、上記の業務内容は、国立大学等の代表的なものであり、機関の設置目的や規模、事業内容等により異なります。

事務

学生支援

学生の入学から卒業までを学業面、生活面から支援します。



- ▶学籍管理、修学指導、成績データの処理
- ▶奨学金、授業料免除、学生の健康管理、生活指導
- ▶就職サポート
- ▶大学入学共通テスト・個別学力試験の実施

→P6

事務

企画・評価

機関を発展させるための企画・立案を担います。



- ▶将来計画、大学改革
- ▶中期目標、中期計画、年度計画
- ▶大学経営の企画・評価（外部評価、自己点検評価）
- ▶業務改善推進

→P9

事務

広報・社会連携

機関の教育研究活動の内容やその成果を社会に発信する役割を担います。



- ▶広報活動の企画・立案・実施
- ▶情報公開に関する業務
- ▶地域貢献活動（公開講座、出前授業等）の企画・実施

→P10
→P11

事務

財務

組織運営に必要な財務上の計画や管理を行います。



- ▶組織運営に必要な予算の要求・執行
- ▶各種物品の契約・購入・管理
- ▶授業料・検定料・入学金等の収入金の出納

→P14

図書

図書

教育・研究のための学術情報の提供を行います。

※司書の資格は必要ありませんが、図書館学概論等の専門的知識が必要です。



- ▶図書の貸出・返却、利用案内
- ▶図書雑誌の購入・受入・分類・目録作成
- ▶他機関との相互利用に関する業務
- ▶利用者の情報リテラシー教育

→P15

事務

研究支援

研究の助成、産学官連携の推進を支援します。



- ▶ 受託研究・民間との共同研究等の外部資金受入
- ▶ 知的財産の管理
- ▶ 寄附講座・寄附研究部門の設置・運営
- ▶ 地域研究拠点の運営・推進

→P7

事務

国際交流

海外との学術交流・学生交流の推進を支援します。



- ▶ 海外の大学・研究機関等との学術交流事業
- ▶ 外国人研究員等の受入、教職員の海外派遣
- ▶ 留学生の受入、学生の留学支援
- ▶ 地域社会と留学生の交流事業

→P8

事務

医療支援

高度先進医療を担う附属病院の管理運営業務を行います。



- ▶ 外来患者の受付、入退院の手続、医療情報の管理
- ▶ 診察・入院料金の計算・収納
- ▶ 地域連携医療、災害医療支援、病院再開発計画の策定
- ▶ 病院経営にかかる情報の収集・分析

→P12

事務

総務・人事

事務全般を総括し、機関や教職員を支えるための幅広い業務を行います。



- ▶ 教授会・評議会等の会議運営
- ▶ 入学式・卒業式等の式典運営
- ▶ 規則の制定・改廃
- ▶ 教職員の採用・昇任・異動・給与・研修・福利厚生

→P13

技術

施設系

キャンパス内の多種多様な施設に関する計画、施工から保全等の業務を行います。



- ▶ 新築・耐震改修等の計画・調査・設計・積算・検査
- ▶ 工事の発注、工事現場監理
- ▶ 省エネルギー対策の策定
- ▶ キャンパスマスタープラン作成

→P16

技術

教育・研究支援系

専門知識を活かし、技術面から教育・研究活動を支援します。



- ▶ データ解析、計測・観測技術の開発、試料作製
- ▶ 学生の実験等の技術支援・助言
- ▶ 研究・実験機器等の設計・開発・維持・管理
- ▶ ネットワーク・システムの管理・運営

→P17

いつも笑顔で

学生支援



Q 1 現在の仕事内容について

教育学部の学務課に所属し、進路に関するアンケートの実施や教員志望者向け情報の周知、インターンシップなど、主に就職関係業務を担当しています。普段は学生に関する業務が多いですが、実地指導講師の採用や派遣依頼文書の作成・送付など、非常勤講師関係の業務も行っています。またその他にも、大学院の入試業務も担当しています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

大学院の入試業務は募集要項の作成から試験実施、学生の入学手続きまで1年を通して業務を行います。1つのミスが重大な問題となる業務のため責任と緊張感を伴いますが、教職員と協力し合い無事に終えることができた際には大きな達成感があります。

Q 3 国立大学法人等職員を選んだ理由について

学生や教員を支援する仕事として魅力を感じたからです。人の役に立つ仕事に就くという考えのもと就職活動を行う中で、大学生活における様々なところで学生を支援している大学職員を職業として再認識し、その業務内容に興味を持ったため国立大学法人等職員を選びました。

新潟大学 人文社会科学系学務課教育学部教職支援係
一般職員

令和5年度採用

西村 優花
ニシムラ ユウカ

8:30	出勤	メールチェックと今日やるべき仕事を確認し、大体のスケジュールを立てます。
	窓口対応	学生からの提出物の受け取りや、教員からの講義室予約等の対応をします。
12:00	お昼休憩	お昼ご飯を食べたり好きな音楽を聴いてリフレッシュしています。
13:00	アンケート集計	就職関係アンケートの学生回答をまとめます。
	資料作成	卒業生の進路内定状況の報告書を作成します。学生の進路内定届をもとに毎月報告します。
17:15	退勤	明日やるべきことを確認してから退勤します。

研究支援

代わりはいる
ではなく
代わりになる

埼玉大学 研究推進・国際連携課
係員

平成30年度採用

池田 隼俊
イケダ ハヤト

Q₁ 現在の仕事内容について

私は主に研究環境、法令遵守に関する業務を担当しています。科研費や国・JST等の補助事業といった外部資金の執行管理だけでなく、どうすれば外部資金を獲得できるか、研究時間を確保できるか、といったことを考え、制度を運用しています。そのほか、遺伝子組換え実験や動物実験の安全かつ適切な実施を確保するための委員会の運営も担当しています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

大学の研究は、インフラの構築やイノベーションの創出、地域課題の解決、多様な価値観の理解など、社会を担う重要なものです。微力かつ間接的ですが、こうした活動に携われるところはやりがいを感じます。まだ異動してまもないので、今後インパクトのある成果がでたらうれしいです。

Q₃ 職場の雰囲気について

四季を感じさせる自然豊かな環境のなか、のんびりとした雰囲気に包まれています。また、上司・同僚等と相談しながら、一致団結して仕事に取り組んでいますし、特に若手同士の仲が良く、気さくな先輩後輩に囲まれています。文部科学省へ出向した経験がありますが、ワークライフバランスも整っており、職場環境の良さを再認識しました。

8:30	出勤	To doメモを見て最低限何を終わらせたいか決めます。
	メール・チャット確認 情報収集	すべての通知を確認し、初動を急ぐ案件か頭の中で整理します。また、アンテナを広げるために学内外に限らずニュースをざっとチェックします。
9:30	会議	陪席し、担当業務である学内の研究費配分について、審議の経過を確認します。
12:15	昼食	12:15からが休憩時間ですが、自分で判断し、区切りをつけてから任意の時間に行くようにしています。
13:15	会議の宿題対応 補助金の事務処理	会議であがった指摘についての対応や、同時並行で各種業務を行います。
17:15	退勤	翌日以降のTo doをメモして退勤します。退勤したら仕事のことは考えないようにしています。

51% 笑える人生を

国際交流



Q₁ 現在の仕事内容について

国際交流の仕事としては、協定の管理、講演会やイベントの準備・運営、短期学生派遣・受入プログラムの調整、委員会運営等を行っています。本学はとても小規模な大学のため、国際交流のほか、大学院のとりまとめや大学入学共通テストの本学窓口担当、FDに関する業務なども担当しています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

運営に携わったイベントが無事に終了したときは達成感があります。また、イベント終了後に教職員の皆さんと振り返りをして、良かったことをほめていただいたり、今回出た課題を次回に活かしていこうと検討しているときは前向きな気持ちになれます。

Q₃ 今後の夢や目標について

様々な文化に触れ少しでも日本語以外の語学の力を高めていきたいと考えています。本学は聴覚や視覚に障害のある学生が主に在籍しており、手話に触れる機会が多いです。手話をはじめとした多様な言語・文化を学び、共生社会の一助になればと思います。

筑波技術大学 聴覚障害系支援課教務係 主任

平成27年度採用

長屋 美穂子
ナガヤ ミホコ

月曜日	業務確認、資料作成、連絡調整	今週以降のスケジュール確認、学生の海外派遣研修や短期受入の資料作成、担当教職員や派遣予定学生との連絡調整を行います。
火曜日	調査回答案作成	学内外から来る国際関係や留学生関係の調査について回答案を作成し、必要に応じて学内の他部署にも回答依頼等の対応を行います。
水曜日	会議、勉強会	手話通訳者との打合せを含むオンライン会議の準備、会議への陪席を行います。業務の合間に課内の手話勉強会に参加します。
木曜日	セミナー受講	業務に関連したオンラインセミナーを受講し、概要を関係者へ情報共有します。
金曜日	会議やイベントの資料作成、打合せ	次週以降の会議・イベントの資料の準備や、打合せなどを行います。

企画評価

1つ1つ丁寧に



Q₁ 現在の仕事内容について

現在は主に教育研究活動等に関する評価業務を担当しています。大学が設定した目標・計画等に沿った取組が行われているのか、「教育」「研究」「大学運営」など幅広い観点から点検し、進捗状況や成果を確認します。点検・評価の結果から、教育研究活動等の更なる質の向上に向けた取組を企画することもあります。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

評価業務は他部署の職員はもちろん、教員や学生、学外の方々にも協力してもらう必要があります。スケジュール管理や作業内容の調整は大変ですが、関係者が一丸となって大学の「今」を把握し、「未来」を考える職務を担当していることにやりがいを感じます。

Q₃ 職場の雰囲気について

大学の規模が比較的小さいので職員一人ひとりの役割や責任が大きいです。役員も含めて教員・職員の距離が近く、経験年数に関係なく自らの意見や考えを尊重してもらえる環境だと感じます。

総合研究大学院大学 総合企画課運営企画係
一般係員

平成28年度採用

千葉 和哉
チバ カズヤ

8:45	出勤	係内で共有しているToDoリストを参考に業務の優先順位や時間配分など一日の業務スケジュールを考えます。
9:30	他部署との打合せ	点検・評価の対象となる業務を所掌する部署と打合せを行い、必要な情報や資料を収集します。
12:00	昼休み	テニスや卓球などスポーツで気分転換を図っています。ストレス解消や健康維持のためにも、なるべく身体を動かして過ごしています。
13:00	統計データの作成	統計データは評価にあたって重要な指標となるため、関係各所から集めたデータを体系的にまとめて評価業務に活用します。
15:00	評価資料の作成	評価項目ごとに資料を作成して点検を行います。点検結果によっては担当部署と連携して対応策を検討することもあります。
17:30	退勤	繁忙期は残業をしますが基本的には定時で退勤します。翌日も気持ちよく仕事ができるように、デスク周りを整理してから帰宅します。

真摯な報道対応

広報



Q₁ 現在の仕事内容について

大学が新たに行った特徴的な取り組みや研究成果を、新聞やテレビなどの記者に伝え、記事執筆や取材を受けることを狙うプレスリリースという文章の作成と記者会への送付、取材対応を行っています。自分一人で考えているわけでは決してないですが、送付した文章や電話回答が翌日に記事になっていることも多く、やりがいがあります。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

東京医科歯科大学と東京工業大学が、大学統合をすると発表した2022年秋から東工大の広報課にいます。ほぼ同時期に入試への女子枠導入の発表もありました。世間の反応が大きい取り組みでしたが、取材記事を通して少しずつ好意的になっていくのを目の当たりにでき、またとない経験でした。

Q₃ 職場の雰囲気について

広報課に限りませんが、協力して業務を行う雰囲気が強いです。上司・部下に限らず、教員・研究者、みなさん協力的で、行き詰まってしまうようなことはこれまでなかったです。また、一口に事務職員と言っても多くの職種があり、それぞれ適性を活かして業務にあたっています。

東京科学大学 総務企画部広報課総務・メディアグループ
スタッフ

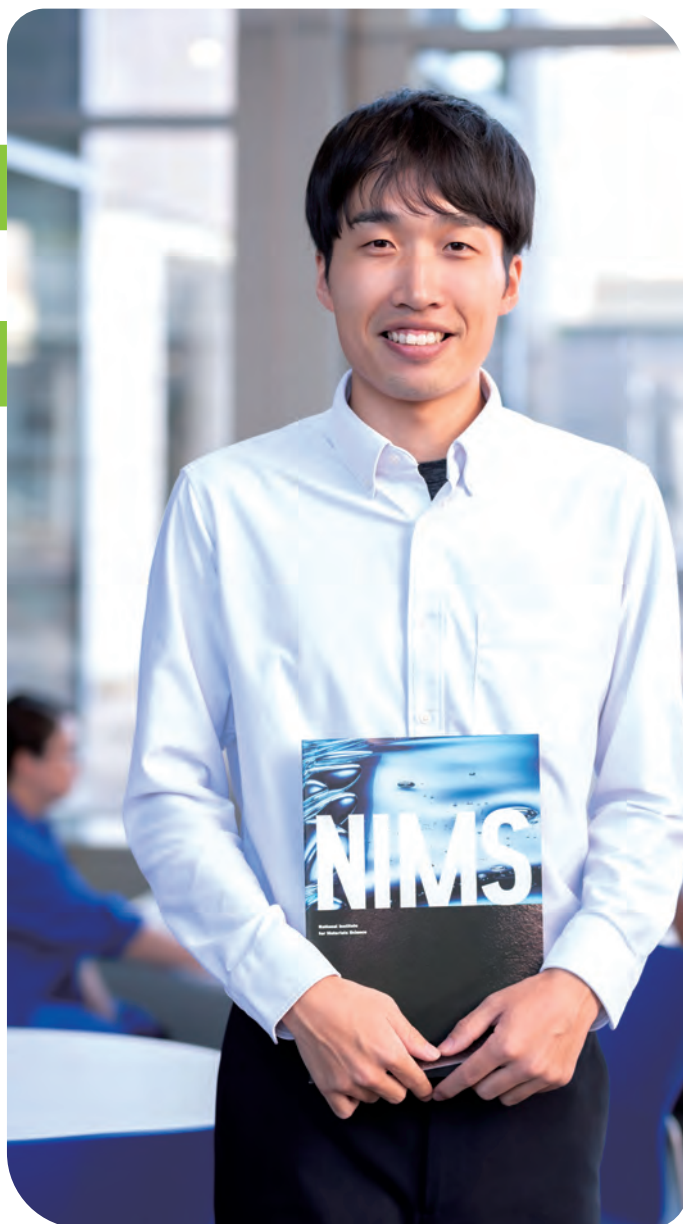
平成30年度採用

野本 駿一
ノモト シュンイチ

8:30	出勤	広報課は比較的在宅勤務がしやすい部署ですが、メディア対応ということで電話が多く、私は週1としています。
	報道のチェック	対応した取材の記事が出ていないか、大学が取り上げられているか、どんなことが話題になっているかチェックします。
9:30	メールやSlackの確認・返信	広報課は様々な業務があるのですが、Slackを活用すると相手の業務状況を気にし過ぎず、気軽にコミュニケーションが取れます。
10:30	課内打ち合わせ	週1で定例の打ち合わせがあります。業務状況の報告をしたり、チームで解決できない困りごとを課内で話し合います。
12:00	昼食	勤務地の大岡山は学生が多いこともあり、昼食のバラエティには困りません。大盛りで頼むとなかなかのボリュームのお店が多いです。
19:00	退勤	午後は取材対応や、メールの返答が多いです。夜に用事がある日(大概は映画の特集上映)は引き継いで退勤できています。

社会連携

分からないことは すぐに聞いて解消。



Q₁ 現在の仕事内容について

物質・材料研究機構(NIMS)と、企業/公的機関との共同研究等に係る、契約業務を担当しています。締結に向けた事務作業はもちろん、時には前線に立って、先方との交渉業務にもあたります。また、展示会での研究成果の発信等、新たな連携先の開拓に向けた取り組みも行っています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

ルーティンワークだけでなく、契約交渉等の専門的なスキルが身につけられることにやりがいを感じています。同じ部署には、企業で長年契約交渉に携わってきたスペシャリストが多数在籍しており、親身なサポートを受けながら、成長していくことができます。

Q₃ 職場の雰囲気について

わからないことがあれば、いつでも周りがサポートしてくれますし、意欲があれば新たな学びを応援してくれる環境です。また、プライベートへの理解も寛容で、有給休暇やフレックスなどを活用しながら、みなさんワークライフバランスをとった働き方をしています。

物質・材料研究機構 外部連携部門企業連携室
係員

令和5年度採用

佐藤 陸
サトウ リク

8:30	出勤	会議の予定を確認し、1日の計画を立てる。
	契約事務業務	別の担当者がまとめた契約書の内容をチェックし、所内承認を取る。
11:00	部署内打合せ	展示会出展に向けた進捗確認と、今後のタスクについて整理。
12:00	昼食	
13:00	企業との打合せ	連携を希望する企業の要望を伺ったうえで、適当な連携の形を提案。
17:30	退勤	やり残しがないかの確認と、明日の予定を確認して退勤。

組織も自分も、
今よりもっと
良くなるように

医療支援



東京大学 医学部附属病院 管理課経理チーム契約担当
一般職員

令和5年度採用

小早川 優里
コバヤカワ ユウリ

Q 1 現在の仕事内容について

医学部附属病院における経理や調達業務を行っています。各診療科で発注した研究に必要な物品、試薬等の支払い手続きや、高額(100万円以上)な医療機器の調達、派遣契約手続きを行っております。扱う額が大きいので、上司や先輩に相談したり、各診療科の先生や秘書の方と連絡を取りながら進めることが多いです。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

普段やり取りしている診療科の先生や秘書の方から感謝の言葉をいただいた時にはとてもやりがいを感じます。高額な医療機器等の調達では調整や手続きが困難な時もありますが、完了後には医療の発展に少しでも貢献できたと感じ、毎回嬉しく思います。

Q 3 国立大学法人等職員を選んだ理由について

自分の所属する機関だけでなく、国内外における学術や教育の発展にも繋がる仕事に魅力を感じたからです。当初は地元の自治体職員を志望していましたが、偶然参加した国立大学法人等職員の説明会で職員の方々の話を伺い、自分も職員としてこの仕事に携わりたいと思いました。

8:30	出勤	出勤時間より少し早めに来て、ゆっくり支度をしています。
	契約手続き作業	医療機器の調達に関する作業など、長期的に取り組む作業は午前中になるべく進めるようにしています。
11:00	研修打ち合わせ	学内や院内においてグループごとに企画・実行を行う研修があるので、メンバー内で打ち合わせをします。
12:00	昼食	同僚や先輩と昼食を食べたり、食堂に行ったり、好きな本を読んだりして過ごしています。
13:00	支払手続き	各診療科より提出された伝票を確認し、支払手続きを行います。
17:15	退勤	明日やることを確認して退勤。作業が残っている場合は、残業する時もあります。

全ての知識は 経験に基づく

総務 人事



Q 1 現在の仕事内容について

現在、出張などの旅行中に必要となる交通費等の経費にあてるために支給される旅費の計算や書類作成を主に担当しています。また、年に1回所内で行われている防災訓練の準備や進行補佐、所内会議の準備や資料とりまとめ、役員の日程調整等を含めた幅広い業務に携わっています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

当研究所は我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターです。事務職員ですので直接、障害のあるお子さんと触れ合う機会や現場を見学する機会は多くありませんが、現在自分が行っている業務が日本の特別支援教育の一助になっていると感じるときは大きなやりがいを感じます。

Q 3 職場の雰囲気について

職員数が100人に満たない職場ということもあり、職員同士顔を合わせて話すことができるため、コミュニケーションが取りやすい職場環境だと思います。事務職員というと、ずっとパソコンと向かい合っている姿を想像するかもしれませんが、意外とアクティブに業務を行っています。

国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課総務係係員

令和5年度採用

新井 匠都

アライ タクト

9:15	出勤	まず、席に着いたらメールと役員の予定を確認します。
10:00	旅費書類作成	職員の旅費書類を作成し、財務課の担当部署へ提出。
12:00	昼食	海と山に挟まれた自然豊かな立地にあるので職場周辺を散歩することもあります。
13:00	部内打合せ	部内の打合せに参加し、次の週にある所内会議の議題を確認いただきます。議題の追加等があった場合、次第や資料の修正を行います。
15:00	役員打合せ	次の週にある所内会議の議題について役員に報告します。その後、席に戻り資料のとりまとめを行います。
18:00	退勤	明日行う業務について整理し、メモに書き残して退勤。

縁の下の力持ち

財務



Q₁ 現在の仕事内容について

主に決算を担当しています。自然科学研究機構は5つの研究機関と2つのセンターがあるため、事務局では部門としての事務局の決算作業に加えて、各機関にて作成したデータをもとに機構としての決算処理を行うという取りまとめの作業を担っています。また、財務諸表等を含め各種調書の作成などの業務を行っています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

日々の業務としては、会計処理に関する相談への回答やエラー修正などで課題を解決できた際にはやりがいを感じられます。また、機構内の各機関の担当者と協力して、1年間の財務処理の総まとめとなる財務諸表の作成が完了した際には特にやりがいや達成感があります。

Q₃ 職場の雰囲気について

すべての部署がワンフロアとなっているため風通しがよく、他の部署の職員とも気軽にコミュニケーションをとることができます。業務において生じる些細な疑問も気軽に相談しやすいので、前向きに仕事に取り組むことができる環境だと思えます。

自然科学研究機構事務局
財務課財務係 係員

令和4年度採用

原田 渉
ハラダ ワタル

1~3月	消費税計算・決算準備	年間で納める消費税額の計算や、4月から本格化する年度末の決算に向けて各種様式の準備や注意点の確認などを行います。
4~6月	決算	1年間のまとめとなる決算になります。最終的に作成する財務諸表を含め、様々な資料を作成します。
7~9月	決算振り返り・調書作成	決算作業にて生じた課題などを機構内の担当者と共に共有し振り返りを行うとともに、決算関連の各種調書の回答を行います。
10~12月	調書作成・監査等対応	依頼を受けた調書について回答を行うとともに、監査法人や税理士等に期中の会計処理を確認いただくためのデータ作成などを行います。

「伝わって はじめて 伝えた」と言える

図書



Q₁ 現在の仕事内容について

全国の大学図書館などが共同でデータベースを構築する「目録所在情報サービス (NACSIS-CAT/ILL)」の運営です。他大学の図書館職員・教員・システム業者などと一緒にサービスの方針を検討したり、広報を行ったりします。海外の図書館との交流もあります。写真はブルガリア出張のときのものです。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

説明会で新しいサービスの説明をしたときに、「分かりやすかった。使いやすそう」と感想をいただいたときは嬉しかったです。また、日々の業務では、誰かにややこしい状況を相談するときに、整理してスムーズに説明できると達成感を感じます。

Q₃ 職場の雰囲気について

和やかで安心して居られる雰囲気です。忙しい人が多いですが、質問や相談で話しかけると、みなさん笑顔で聞いてくれます。家で仕事をする日もありますが、職場は一人で集中したい人と話したい人のスペースが分けられていて、日によって好きな席を選んでいきます。

国立情報学研究所 学術基盤推進部学術コンテンツ課
学術コンテンツ整備チーム 図書系職員

平成30年度採用

三村 千明

ミムラ チアキ

月曜日	【在宅勤務】 チーム定例打合せ	週の初めは眠い…。同じチームのメンバーとオンライン会議をして、近況報告や雑談から一週間を始めます。
火曜日	【在宅勤務】 窓口定例打合せ	サービスの問合せ窓口担当者とオンライン会議をして、懸案事項の確認をします。日常の細かいやり取りはタスク管理ツールを使っています。
水曜日	【所内勤務】 ERDS定例打合せ	週に2度は出勤。今日はシステム業者を交えたオンライン会議で、絶賛開発中のサービスについてみんなで検討します。
木曜日	【在宅勤務】 品質管理室定例打合せ	データベースの品質管理の担当者と、月に1回の定例打合せです。高度な議論は聞いているだけで勉強になります。
金曜日	【所内勤務】自由	打合せ予定のない日は、上司に相談をしたり、集中して文書を作るのに最適。ランチは同僚のおすすめのお店に出かけます。

常に内省し
次に生かすことを
考えています。

技術職員
(施設系)



東京科学大学 施設部施設整備課建築グループ(寄稿時) スタッフ

平成27年度採用

高橋 桃子
タカハシ モモコ

Q₁ 現在の仕事内容について

建物の建設工事の発注業務及び工事監理業務を行っています。発注業務は設計図を作成し、その工事にかかる金額を算出するための積算を行います。工事を行う業者が決定し、契約が完了した後、監督職員として設計図通りに工事が進んでいるかを確認する工事監理業務を行います。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

わからなかったこと、知らなかったことを理解したときに喜びを感じます。建物毎にそれぞれの特徴を持っているため、毎回工事の内容が異なります。経験したことのない工法や使用したことのない材料を知ることによって知見が広がり、後の仕事に活かすことができます。

Q₃ 職場の雰囲気について

不明点をすぐに誰にでも聞きやすい雰囲気です。些細なことですが、迅速に仕事を進める上で大事なことだと思っています。また、大学全体の雰囲気として、学長や理事、先生との距離が近いので、大学の方針及び目標を知る機会が多いと感じています。

8:30	出勤	1日のスケジュールとやるべきことを確認します。
9:00	図面チェック	施工者から提出された施工図に設計図との相違点が無いか確認を行います。
12:15~ 13:15	昼食	
13:30	現場検査	現場が設計図通りに進んでいるか、現地で確認を行います。
16:00	各担当者で打合せ	施設整備課は建築・電気・機械の担当者に分かれています。他の担当者と、工事に関する打ち合わせを行います。
17:15	退勤	明日行う業務の確認をして退勤します。

安全を第一に 効率良く

技術職員

(教育・研究支援系)



Q 1 現在の仕事内容について

化学系学生実験の支援がメインの仕事になります。事前に薬品の準備や実験内容を考慮した器具を配置し、実験中は学生が安全第一で実験を行えるように支援しています。薬品や測定機器の管理、卒業研究の補助、また、情報リテラシーの授業支援など化学系以外分野でも支援を行っています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

学生実験を通じて学生の「出来た、分かった」の瞬間に立ち会えることです。化学系全学年の実験を支援しているので、最初は実験操作も分からなかった学生が、自分で考え進んで実験を行えるようになった姿に支援業務としてのやりがいを感じます。

Q 3 教育・研究支援系の業務の魅力について

教育・研究支援系業務の魅力は、なんと言っても学生との距離が近いところです。学生実験だけでなく、支援業務として授業中のサポートにも入ります。実験や授業中に会話するだけでなく、前後の休み時間には最近あった出来事や趣味の話など楽しい時間を学生と共有できます。

茨城工業高等専門学校 技術教育支援センター
技術専門職員

令和2年度採用

伊吹 淳子
イブキ ジュンコ

8:30	出勤	
9:00	実験準備	実験室にて薬品や実験器具の準備。 実験中にどんな危険があるかを確認しておく。
12:00	昼食	
13:15	学生実験	学生がガラス器具や薬品でケガをしないよう 安全第一で実験を支援。
16:30	後片付け	実験器具の洗浄や廃液の確認。
17:00	退勤	

column



教職員支援機構 採用1年目の職員にインタビュー

——皆さんの共通点の一つは、令和5～6年度に採用された入職一年目の職員だという点です。ただ、藤崎さんは新卒で、白石さんと浅野さんは転職組と聞いています。

白石 そうですね。大学在学中に教育実習へ行った際、教員より指導案や教材内容などのコンテンツを考えるほうが向いていると感じました。前職の学校法人では、教職員をサポートする学校事務の仕事をしていましたが、夫の職場が変わったのをきっかけに転職することになりました。独立行政法人教職員支援機構(NITS)を志望したのは、前職同様、教育関連で、かつ教職員をサポートできるという点が大きかったですね。

浅野 私はもともと、市役所で出前講座や講演会に関する仕事をしていて、教育委員会事務局では先生方と一緒に仕事をしてきました。NITSはこれら2つの経験を生かせる職場だと思って。藤崎さんは、どうしてここを？

藤崎 大学生の頃に中高受験の塾講師をしていたのですが、教育者で居続けることは自分にとってかなりハードルが高かったです。でも、教育関係に関わる仕事をしたいという思いが強くて……。就職活動では、国立大学法人等のパンフレットを隅々まで目を通したことで“教育”と一言でいっても、その仕事は、とても多岐に渡っていることを知れました。その中でも全国の教職員をサポートできるNITSの、その独自性というか、個性に惹かれました。

——NITSでは普段、どのような仕事を担当されているのですか？

白石 私は人事係として、採用関係や安全衛生管理を主に担当しています。入職する方々が最初に接する窓口なので広報的な立ち位置でもあるし、各種入職手続きはもちろん、精神的なサポートもできるので、とてもやりがいを感じています。また、メンタルヘルス研修やハラスメント防止研修など、働きやすい職場環境づくりに貢献できることも人事係の魅力の一つです。

藤崎 私が所属する連携推進係では、NITSが主催する研修事業の運営、教育委員会や文科省などの外部機関との連携、各機関との共同事業の推進を担当しています。複数の研修を並行して担当するので右往左往してばかりですが、現場の教育者の熱量を肌で感じられるので、モチベーショ



令和5年度採用

教職員支援機構
教職員の学び協働開発部研修マネジメント室
(研修マネジメント係)

浅野 由華 アサノ ヨシカ

ンは上がりっぱなしです。新卒一年目ですが、すでに充実感を覚えています。

浅野 藤崎さんと重なる部分がありますが、NITSが主催する研修事業の運営、研修の企画立案、外部機関との連絡調整等に携わっています。今年主催した高校と特別支援学校の事務職員を招いて行った研修では主担当を任せられました。研修を主催する度に、全国津々浦々各地域の学校教育の特色を聞けるのは、この業務の醍醐味です。あと、私たちNITSは、対話を重視した研修を目指しているということもあって、職場でも対話に割く時間がとても多い。これは転職して一番の発見と驚きでした。

——具体的にどのような対話をされているのですか？

浅野 PLCという名の“対話の場”を開催しています。自由参加だし、誰でも興味関心のあるテーマを提案できます。辿り着く“解”も人それぞれ。1つのテーマを色々な切り口と立場で捉えられるようになります。

白石 研修に参加した人たちが職場のスタッフと体験を共有できるようにと、QRコードを読み込むと研修動画が閲覧できる名刺サイズの“学びのおすそわけカード”を作ったんですが、これは「NITSのお土産」というテーマのときに出たアイデアを形にしたものなんです。対話しかり、新しいことにチャレンジする精神や姿勢を、とても大切にしている職場だと転職してきて強く感じています。



藤崎 オリジナルグッズとして、小さい团扇も作りましたね。結論がでない時もありますが、立場や役職に関係なく意見を出し合うことができるのは、新人にとっては貴重な場だと思います。

浅野 “でも”“しかし”といった否定からは入らない。“みんな違っていい”が愉しめる。そんな風土が醸成されている職場だと思います。

——風通しのよい職場なのですね。

藤崎 はい！ ワンフロアにすべての課が集約されているので垣根がなく、また、知らず知らずのうちに顔見知りが増えていくのでコミュニケーションが取りやすい。仕事で困ってもすぐに上司にアドバイスを求められるような席配置にもなっているので成長を感じやすいです。

浅野 程よくざわざわしていて、カフェのような穏やかさと和やかさがあるから業務に集中しやすいです。

白石 産前産後休暇、勤務時間割り振りの変更など、一通りの各種制度は整っています。育休や子の看護休暇も男女関係なく取得しています。お昼休みには体育館でバトミントンをやったり、仕事終わりにフットサルをやったりしている人たちもいます。



令和5年度採用

教職員支援機構
総務部総務企画課(人事係)

白石 佳奈子 シライシ カナコ

——スタッフ同士の距離感も絶妙な感じですね。ところで皆さんは、これからのキャリア形成をどのように考えているのですか？

白石 NITSでは、30代半ばまでは数年ごとのジョブローテーションを通してNITS全体におけるそれぞれの課の役割を把握します。その後、中期的なスパンで組織の中核として仕事に関わるようになります。私自身は、組織運営全体を俯瞰できるスキルと能力を高めつつ、教職員をサポートする業務に関われたらと考えています。

藤崎 先のことを考える余裕はまだ持てていませんが、まずは目の前の仕事を着実にこなしていく。これが最優先です。ゆくゆくは人生の幸せに繋がるような職場環境を整える。そんな業務に携われる実力をつけたいです。

浅野 事務職員に向けた研修を担当していますが、理解が追いついていない部分もまだまだ多い。私も白石さん同様、様々な業務をすることで視野を広げ、最終的には、研修の企画立案や運営に還元できたら嬉しいですね。



令和6年度採用

教職員支援機構
教職員の学び協働開発部連携推進課
(連携推進係)

藤崎 裕太 フジサキ ユウタ



私たちのキャリア形成

キャリアパス

係員として採用され、いくつかの部署を経験した後、勤務成績、年齢等を考慮して主任、係長、課長補佐、課長といった順に昇任します。人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、約2～3年ごとにあり、様々な業務を経験します。

経歴

令和6年4月1日～現在
教学支援部 学生支援課



山梨大学 教学支援部学生支援課
一般職員

令和6年度採用

今井 駿
イマイ シュン

Q₁ 現在の仕事内容について

主な業務は、授業料と入学料の免除審査です。免除の申請受付時、学生に提出してもらった書類を基に免除額を決定し、学生本人へ通知します。免除の審査は前期と後期の2回に分けて行われます。免除審査の他に、保健管理センター職員の方の出張手続き、学生保険の加入手続きや証明書の発行など多岐にわたります。そして、学生と接する機会が多いため、学生から感謝の言葉を直接もらえることが仕事の原動力になっています。

Q₂ 就職前とギャップがあった点について

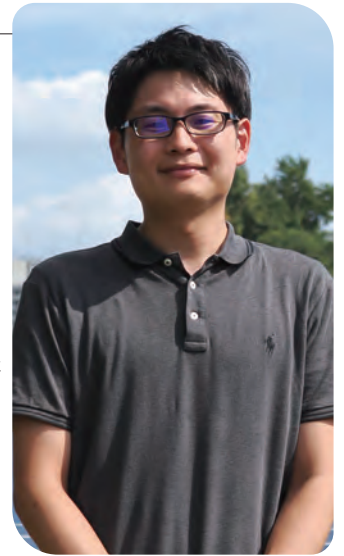
私が思っていた以上にあらゆる部署の方々と連携を取りながら、仕事が進んでいることです。自分だけで完結する仕事はほとんどなく、仕事を進めていくうえで、円滑なコミュニケーションが大切であると思いました。その他には、お昼時間にスポーツを行うことがあり、仕事で関わることが少ない職員の方々と交流できる機会があることです。この時間が私にとってリフレッシュになっています。

Q₃ 今後の目標について

まだ経験や知識が乏しく、具体的な今後の目標やキャリアプランは定まっていませんが、日々の業務を一生懸命に行うことで必ずやってみたい仕事や今後の道が見つかると思います。そのためには、視野を広く持ち、たくさんの人と触れ合うことが大切だと思います。

経歴

平成25年10月1日
医学部附属病院医療サービス課
医療安全係
平成28年4月1日
文部科学省科学技術・
学術政策局企画評価課企画係
平成29年4月1日
学務部学生支援課企画管理係
令和2年4月1日
西千葉地区事務部理工系総務課
総務係主任
令和4年7月19日
企画部企画政策課
データサイエンス学位プログラム設置
準備事務室主任
令和5年4月1日
総務部人事課人事給与係主任



千葉大学 総務部人事課人事給与係
主任

平成25年度採用

江川 亮平
エガワ リョウヘイ

Q₁ 現在の仕事内容について

教職員の俸給決定、通勤手当・住居手当等の諸手当認定、退職手当額計算など、教職員の給与等の計算にかかる業務を担当しています。また、本学の給与制度は国に準拠しているため、毎年の人事院勧告への対応も担当業務の一つです。給与に直接かかわる業務のため、追給や戻入が発生しないように気を張る必要があり、大変と感じることもありますが、責任が大きい分、ミスなくやり遂げたときの達成感ややりがいも大きいです。

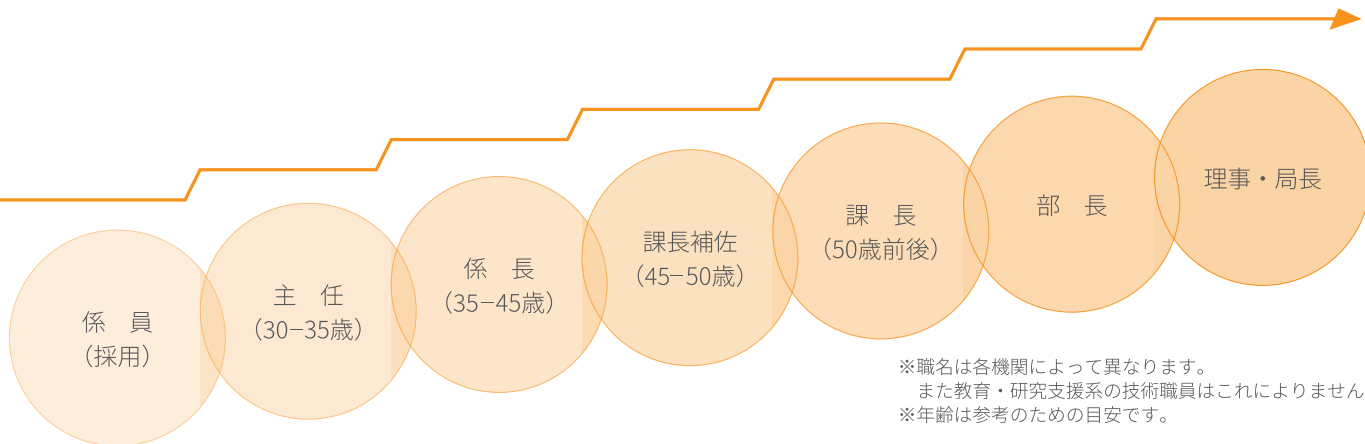
Q₂ 印象に残っている仕事について

新学部・大学院設置にかかる業務を担当した時のことが印象に残っています。具体的には、どのような特色やカリキュラムをもった学部等を設置するのかなどについての学内調整や、新学部等設置の認可を受けるための文部科学省に提出する書類の作成等を行いました。私自身は、文部科学省に提出する書類作成後に別の部署に異動となりましたが、令和6年4月1日に新学部・大学院が設置されたときには達成感がありました。

Q₃ 今後の目標について

これまで様々な分野の業務に携わってきた経験を活かし、今後も大学の発展に貢献できる職員になりたいと考えています。また、これまで上司や周囲の方に助けられてきたことが多いため、今後は自分が後輩などを助けられる職員になることが目標です。

国立大学法人等とは
私たちのフィールド
私たちのキャリア形成
私たちのワークライフバランス
国立大学法人
大学共同利用機関法人
独立行政法人
独立行政法人国立高等専門学校機構
特別な学校法人



※職名は各機関によって異なります。
また教育・研究支援系の技術職員はこれによりません。
※年齢は参考のための目安です。

経 歴

- 平成20年8月
教育学部附属学校係
- 平成22年8月
総務部人事課人事労務グループ
- 平成26年8月
総務部人事課企画総務グループ
- 平成27年2月
理学部学生支援グループ
- 平成28年4月
国立信州高遠青少年自然の家
事業推進室事業推進係主任
- 平成31年4月
総務部人事課人事総務グループ主任
- 令和2年4月
総務部人事課人事総務グループ主査
- 令和5年8月
総務部総務課主査



信州大学 総務部総務課
主査

平成20年度採用

清水 大貴

シミズ ヒロタカ

Q₁ 現在の仕事内容について

主に役員会、教育研究評議会、経営協議会などの全学的な審議機関の運営業務を行っています。大学は変革の時代に突入していますが、社会の変化を敏感に感じ取り、いかにして大学の魅力を高め、社会の変化を敏感に感じ取り、いかにして大学の魅力を高めることができるか、そのための方策についての意思決定を支える重要な業務と考えています。その他、全学的な対応が求められる業務を遂行したり、学内の事務に関する総合調整を行っています。

Q₂ 印象に残っている仕事について

いくつかありますが、やはり初任地である附属学校での勤務が印象に残っています。大学で働くこと、教育現場で働くことの責任感や緊張感を日々感じながら業務にあたっていました。そのなかでも3年生の卒業製作で、県の補助金を活用し、卒業生と一緒に木製掲示板を製作したことは良い思い出となっています。この時に経験した会計系の業務も現在の総務系の業務を行う上で役に立っており、何事も良い経験になると実感しています。

Q₃ どんな職員と一緒に働きたいか

大学職員の業務分野は多岐にわたっているため、異動先で全く新しい分野の業務を行うことも珍しくありません。チームワークを発揮して業務を遂行することが不可欠です。そのため、周りと協力して責任感を持って仕事を進めることができる人と一緒に働きたいと思います。

経 歴

- 平成7年4月
筑波大学 病院部管理課 採用
- 平成9年10月
高エネルギー加速器研究機構
総務部契約課
- 平成13年4月
筑波大学 施設部企画課
- 平成16年4月
筑波大学 財務部資金管理課
- 平成18年10月
筑波大学 システム情報工学等支援室
- 平成20年4月
筑波大学 システム情報工学等支援室
外部資金契約係主任
- 平成24年4月
筑波大学 システム情報工リア支援室 主任
- 平成25年4月
独立行政法人物質・材料研究機構
総務部門総務部契約課契約第2係長
- 平成28年4月
独立行政法人物質・材料研究機構
総務部門調達室調達第2係長
- 平成28年7月
筑波大学 財務部契約課契約第七係長
- 平成30年4月
筑波大学 財務部契約課契約第一係長
- 令和3年4月
筑波大学 事業開発推進室主幹
- 令和6年4月
筑波大学 体育スポーツ局主幹



筑波大学 体育スポーツ局
主幹

平成7年度採用

武井 一浩

タケイ カズヒロ

Q₁ 現在の仕事内容について

体育スポーツ局は、「最高の学校スポーツプログラムを創り、日本社会の未来に貢献する。」をビジョンに教職員、学生、ステークホルダーを巻き込んで、大学スポーツの新たな価値を体現しながら活動しています。様々な取り組みの一例として、体育会所属団体のホームゲーム(TSUKUBA LIVE!)を開催し、運動部に所属するアスリート学生、運営する学生スタッフ、観戦する学生など全ての学生、近隣住民の方々が大学チームを身近に応援できる機会を作っています。

Q₂ ターニングポイントとなった経験について

採用以降、主に財務に関する業務を行ってましたが、現在の役職になってから大学を応援して下さる方々を増やすための渉外活動業務がメインとなりました。その業務と一緒に仲間に行う仲間に本学卒業生がいて、学生のために無理難題をあらゆる角度から捉え業務を遂行していく姿を見て、卒業生の力は凄いなと思うと同時に、柔軟な発想で課題を克服していく重要性を思い知りました。

Q₃ 職員に求めることや期待することについて

1人で仕事は完結しません。コミュニケーション、チームワーク、リスペクトが大切です。自分を起点に多くの人を巻き込んで新たな未来を作りましょう！

DESIGN THE FUTURE, TOGETHER. 一とともに拓く未来



キャリア形成において 漂流する時期にも価値がある。 周囲はちゃんと見てくれる

総務課企画係など(1~4年目)

大波に揉まれながら、断片的な仕事の積み重ねの先に大きな仕事があることを知る

国立大学の構造改革をテーマにした「遠山プラン」を背景に、東京商船大学と東京水産大学が統合し、国内唯一の海洋系大学として東京海洋大学が誕生することが決まります。今から20年以上前になる2001年の頃です。

当時の私は、東京水産大学の入職3年目の若手職員で企画係に配属されたばかり。議事録や資料作成のため、統合に向けた会議の場に居合わせる事ができましたが、両大学の譲れない教育方針や組織への思いをいかに融合して昇華させていくのか、教育研究組織改革の難しさを肌で感じました。他にも、概算要求や設置審の資料作成など、本当に怒涛のように過ぎた一年でした。他部署との連携、段取りの効率化、そして準備の重要性など、様々な気付きをこの時期に得られたのは大きかったです。

自分自身を知る時期であり、大小問わず様々な仕事で、大学全体と複雑に絡み合っていることを意識できるようになった時期だったと思います。

財務課予算係主任・決算係長(5~12年目)

他大学の職員との出会いが埋もれていた自主性を呼び覚ます

5年目に財務部財務課に異動した私は、そこからの7年間、同課で予算、決算の仕事に携わり、お金の流れから大学運営を見渡す経験を蓄積していきます。9年目以降は役職も主任、係長と上がっていき、責任のある仕事を任せられていくようになります。

この期間の大イベントと言えば、国立大学の法人化です。私は、法人化1年目(2004年)に財務省主催の会計職員研修で会計制度を学び、その知識をベースに自学の財務会計制度の構築や、法人後初となる決算の一部も任せてもらうことができました。

法人化から3年くらい経った2007年頃、私は大きなターニングポイントを迎えます。予算の業務もだいぶ落ち着いていましたが、その一方で、法人化により、各大学が自律的な運営をするための専門性や企画力など新たな能力が大学職員にも求められ、自らを省みると危機感も募るばかり。そのとき、「国立大学法人等若手職員勉強会」に参加することに。他大学の職員から刺激を受け、得られた知見やつながりを大学に持ち帰り、若手職員の勉強会で互いに教え合ったり、業務に活かしたりするようになりました。現場で疑問が生じたら他大学の事例や外部のセミナー等から解決のヒントを得るといったサイクルを生むことも。各室の英語表記付案内表示板の設置や決算業務の標準化や定型化など、小さなことから各部署に働きかけ全体最適を目指した業務改善にも取り組みましたが、これらはこの勉強会の効果と言えます。「学んだことを忘れることはあっても、人との繋がりは一生続く」(小山清人山形大副学長(当時)の講演での言葉)、「キャリアを常にデザインするの必要はなく、節目と節目の間の漂流する時間の出来事にも意味がある」(勉強会で紹介された金井壽宏神戸大教授のキャリアデザイン論の考え方)は、今でも私の仕事やキャリアとの向き合う基礎になっています。



東京海洋大学 財務部 キャンパス整備企画課 課長

平成11年度採用

伊達 精也

ダテ セイヤ

企画・評価課企画係長、大学改革準備室専門職員(13~18年目)

新学部創設準備の一員に。大学で働く意義を実感!

2回目となる大きな転機が訪れたのは2014年の頃で、新しい学部の創設が決定したのを機に、新しく立ち上がった大学改革準備室への配属になります。ここでは事務方の実務の責任者として新学部設立に向けた業務全般に関わっていきます。外国人教員の招聘、東京駅に広告の出稿、人材採用や補助金の執行など未経験の業務も多数ある中で、3年目の大学統合時の経験を踏まえ、ゴールを見定め、逆算思考で業務合理化に努めました。

最初の仕組みづくりは骨の折れる作業ですが、一度作ってしまえば、自走しながら次第と洗練されていきます。最初に主体的に動くことで周りの共感や協力が得られれば、達成できることが増え、結果として働きやすい職場になっていく。そんな経験ができました。

また、新学部のプログラムの参考にするため学生の海外研修に同行した際、学生の発表資料作りを手伝う機会がありました。夜遅くまで議論する先生と学生たちの熱量が物凄く、その真摯な姿勢に感銘を覚え、大学で働く意義を体感できました。



財務課総務係長、予算係長、キャンパス整備企画課長など(21年目~)

未来の好きは誰にもわからない。食わず嫌いは損を生む

現在、キャンパス整備企画課長である私は、「キャンパスマスタープラン」の実現に向けて精力的に活動しています。このプランは、キャンパス内の施設環境の整備や活用の基本方針で、地域、産業、大学の「共創の場」を創出するため、民間企業に土地の一部を貸し出して得た事業収益も活用して、キャンパス環境面から大学の機能を強化するものです。ただ、事業期間はこの先70年。とても長く、今いる職員は誰も最後までは付き合えませんので、後任に継承されていくことを意識しながら事業の礎を築くことに注力しています。「お互いに教え合うことは大学業界の良いところなので、課題があれば他大学や外部専門家から学ぶことも考える」「強み分野は積極関与。弱み分野は他者に助力を求め、お互い様の協力関係を作り、チームで成果を目指す」など、私がこれまで経験から得てきたものを伝えつつ、安心してメンバーが各々の力を発揮できるような環境づくりを目指しています。

利益追求型のビジネスが性に合わないと思える大学職員になったのに、気づけば収益を増やす部署にいて、それにやりがいを感じている自分がある。自分の可能性を決め付けず様々な分野を経験する中で、予想もしなかった出会いによって自分の適性が見えてくることもある。上司など周囲の人がちゃんと自分を見てくれて、様々な機会を作っていたおかげとも思います。国立大学は、頑張れる価値があると思える仕事と遭遇する場なのかもしれません。

Message 教育と研究、これが大学の核です。そこに貢献できることに魅力や面白さを感じるなら、大学はきっとあなたを惹きつけてやまない職場になるはず。学生や教員と直接関わる業務はもちろん、海外勤務、他機関への人事交流など、国立大学職員の仕事は、大学内に留まらず、外にも開かれています。法人化によって自由度は高まり、早い段階で責任ある仕事や職位を任せられる機会も増えています。国立大学での多様な仕事がある中で、皆さんにとって価値があると思える仕事と出遭えることを願っています。



キャリアデザイン(研修)

文部科学省 国際業務研修・国際教育交流担当職員
長期研修プログラム(LEAP)についてQ₁ 研修の内容について

1年2か月文部科学省の国際業務研修生として国際関係業務を経験後、10か月間米国等に派遣されます。米国では、当初2か月間は英語研修や米国の高等教育制度に関する講座を受講し、残り8か月間は現地の大学に勤務します。私はコロナ禍の影響で、文部科学省には1年9か月おり、その後はモンタナ州立大学で2か月の研修と8か月の実務に当たりました。

Q₂ 研修経験が業務等で活かされている点

帰国後すぐに本学の国際関係部署にて、研修で得た英語力や経験を活かして留学生の受入れや支援の業務に携わりました。現在の部署に異動後も、SD活動等を通じて間接的にはありますが大学全体の国際化に貢献できるよう尽力しています。私生活では、年1回程度モンタナから日本に来るゲストを案内し、現地でお世話になった方々に恩返しができています。

横浜国立大学 総務企画部総務企画課企画調整係
主任

平成26年度採用

増田 紋香

マスダ アヤカ



キャリアデザイン(人事交流)

機関名:文部科学省

Q₁ 人事交流先機関での仕事内容について

研究開発局地震・防災研究課管理係で、地震・火山に関する調査研究の委託契約手続きを担当していました。具体的には、公募の実施、審査委員の委嘱、審査会の運営、委託契約締結、執行状況・委託業務完了の確認、委託費の精算・支払手続きなどです。その他、課内の予算執行管理業務にも従事していました。

Q₂ 人事交流経験前と経験後での価値観の変化
人事交流を通じて学んだこと

文部科学省では、これまでとは異なる視点を持ちながら行う業務が多く、新たな気づきがありました。多様な視点を持ち、視野を広げることの大切さを学び、以前より業務全体を深く理解できるようになったと感じています。また、事前に段取りを立てて、全体のスケジュールを組んでいくことをより意識するようになりました。

防災科学技術研究所
戦略的イノベーション推進室
係長

平成28年度採用

根本 恵理子

ネモト エリコ



私たちのワーク・ライフ・バランス

育児も仕事も楽しめる環境です

Q₁ 産休、育休中に印象に残っている出来事

日々の子どもの成長を間近で感じられたことが最も印象に残っています。復職後は育児と仕事の両立が大変でもあり面白くもありますが、産休・育休中は育児に真正面から向き合う日々を送ることができ、得難い経験になりました。

Q₂ 産休、育休取得後の周りのサポートについて

育児短時間労働の制度を利用して勤務しています。また度重なる子どもの体調不良の際は子の看護休暇を利用しています。様々な制度が設けられていることはもちろん、周りの方に快く受け入れていただき、しっかりと制度が活用できる環境であることが最も心強いサポートだと感じています。

東京工業高等専門学校 総務課人事労務係
主任

平成25年度採用

友員 彩夏

トモカズ アヤカ



育休

work life balance

childcare
leave

職場復帰と「なるようになる」

Q₁ 産休、育休取得前に不安に感じていたこと

一番の不安は復帰後の職務をこなせるかどうかでした。産休・育休取得前は、今の仕事を引継ぎすることや無事に出産することで頭がいっぱいでしたが、いざ復帰を控えると自分自身の環境が大きく変わっており、以前と同様に働くイメージができず不安は拭えませんでした。復帰後は家庭と仕事で矢のごとき日々です。

Q₂ 実際に産休、育休を取得して感じたこと

産休は出産する女性は取得せざるを得ない義務や権利であるとともに、その間継続して職務を支えている同僚がいてこそ復帰が叶うのだと実感しました。育休も短時間勤務も同様に、自分と他者双方の努力で「なるようになっている」ことを念頭に無理なく仕事を続けていきたいと思っています。

小山工業高等専門学校 学生課教務係
主任

平成23年度採用

大内 菜々

オオウチ ナナ



育休

work life balance

childcare
leave

子供たちの成長を見逃したくない

Q₁ 育児休業をとろうと思ったきっかけ

長女の時に3か月、長男の時に8か月取得しました。まず職場の雰囲気が良かったです。過去に先輩たちが、積極的に育休を取っていたので、職場に理解していただいているのは一つのきっかけになりました。また、育児休業に伴う制度などについて人事担当部署から説明してもらえたので、休業から復帰までを不安なくイメージすることができました。

Q₂ 育児休業をとってよかったと思うこと

子供たちとたくさんの時間を過ごせたことが何よりだと思っています。本当に子供の成長はあっという間で、初めて寝返りをしたかと思えば、次の日から何度も転がって、勢い余って頭を打ったりします。今の子供の様子は今しか見られないです。子供たちの成長を妻と共にひやひやしなながらも喜べたのはかけがえのない時間だったと思います。

大学改革支援・学位授与機構
管理部総務課研究支援・広報戦略係
係員

平成25年度採用

武山 雄人

タケヤマ ユウト



育休

work life balance

childcare
leave

地元に戻って心機一転

Q₁ 転職を決めた理由

前職は住宅設備(キッチン、風呂等)メーカーの営業職で仕事中心の毎日でしたが、「仕事とプライベートの両立」を実現したい、学生時代教育学を学んでおり、将来的には教育や地域連携に関わる仕事がしたいという思いから、大学での仕事に興味を持ち、地元での転職を決めました。現在は先生方の科研費や助成金受入等の業務に携わり、陰で研究を支える重要な業務だと感じています。また様々な研究が行われていることを肌で感じられ、新鮮で貴重な経験ができています。

Q₂ 転職を考えている人へのメッセージ

前職も現職も経験したかった仕事の1つであり、各々メリットデメリットはありますが日々充実しています。働く中で感じる仕事への気持ちや優先順位の変化を大切にして、皆様の思いとマッチする職場で働けることを願っています。

宇都宮大学 社会共創・情報部 社会共創・
研究課 研究協力係
係員

令和4年度採用

小嶋 優季

コジマ ユウキ



転職

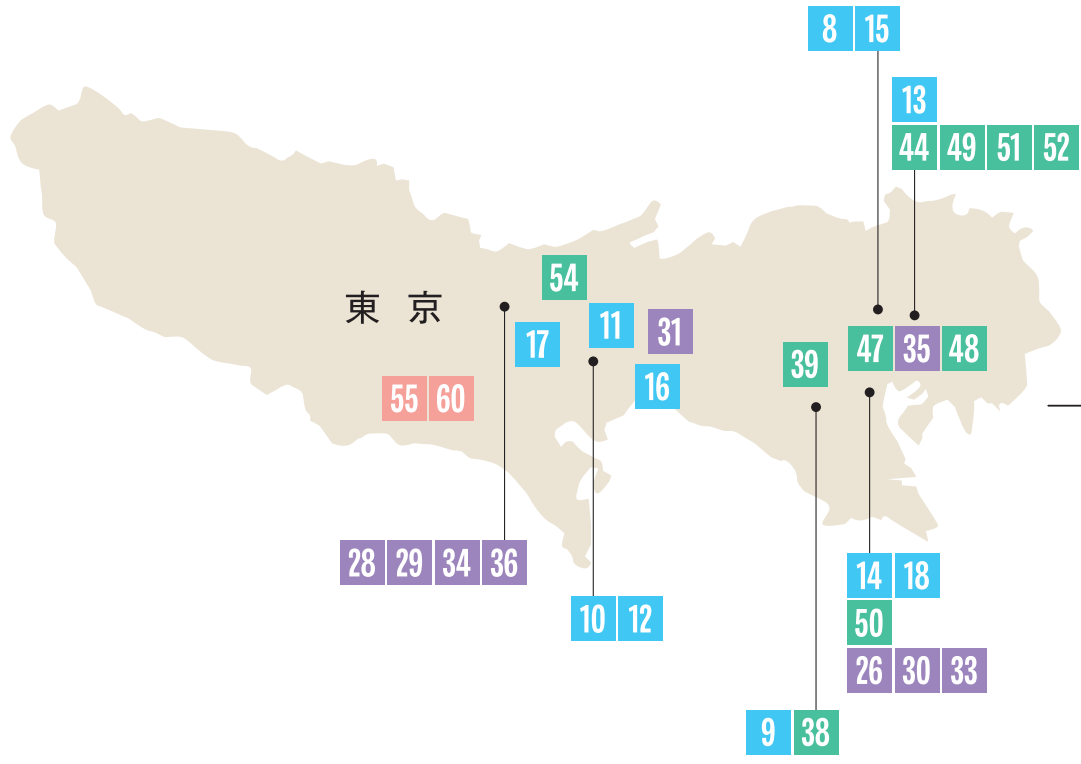
work life balance

change
jobs

関東甲信越地区63機関紹介

各機関は、設置以来の歴史と伝統、学問分野、規模、重視する機能などの違いから、様々な個性と特色をもっています。

個性輝く63の機関は、あなたの未来をひらく「知の拠点」です。



国立大学法人

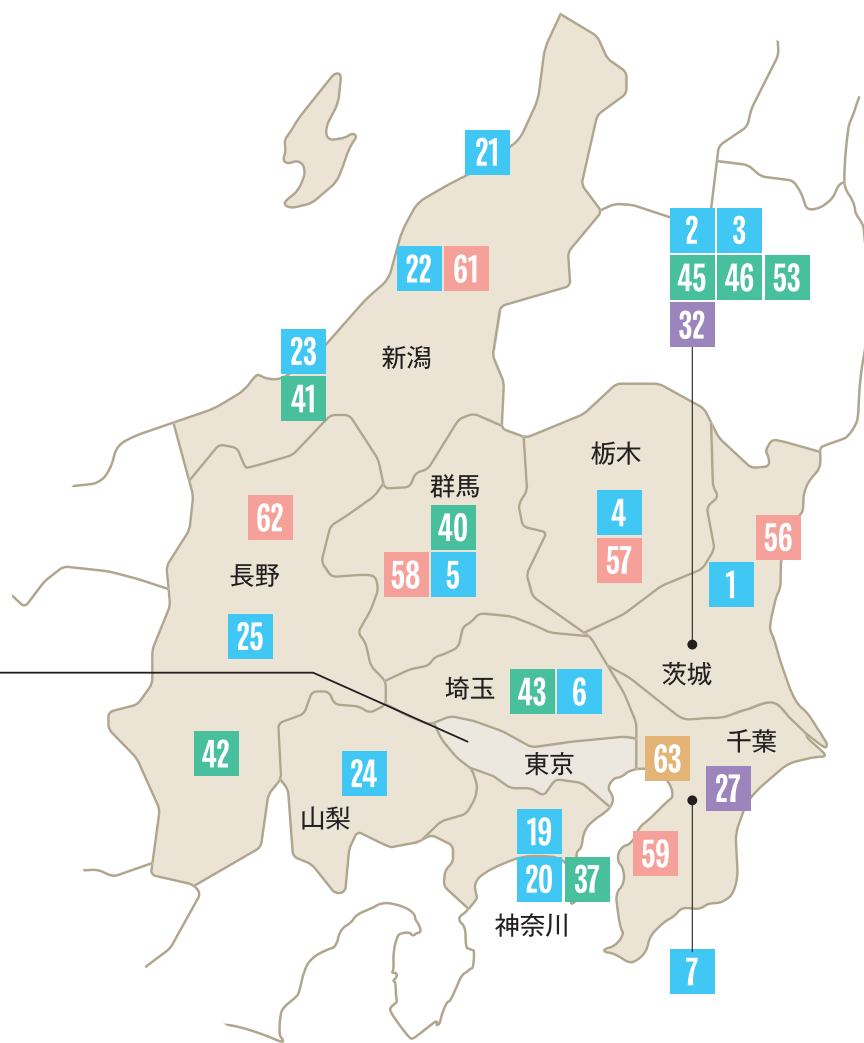
(25機関) P28～

1 茨城大学 P28	14 東京海洋大学 P30
2 筑波大学 P28	15 お茶の水女子大学 P30
3 筑波技術大学 P28	16 電気通信大学 P30
4 宇都宮大学 P28	17 一橋大学 P30
5 群馬大学 P28	18 政策研究大学院大学 P31
6 埼玉大学 P29	19 横浜国立大学 P31
7 千葉大学 P29	20 総合研究大学院大学 P31
8 東京大学 P29	21 新潟大学 P31
9 東京科学大学 P29	22 長岡技術科学大学 P31
10 東京外国語大学 P29	23 上越教育大学 P31
11 東京学芸大学 P29	24 山梨大学 P32
12 東京農工大学 P30	25 信州大学 P32
13 東京藝術大学 P30	

大学共同利用機関法人

(11機関) P32～

26 人間文化研究機構事務局 P32	32 高エネルギー加速器研究機構 P33
27 国立歴史民俗博物館 P32	33 情報・システム研究機構 P33
28 国文学研究資料館 P32	34 国立極地研究所 P33
29 国立国語研究所 P32	35 国立情報学研究所 P33
30 自然科学研究機構事務局 P33	36 統計数理研究所 P34
31 国立天文台 P33	



独立行政法人

(18機関) P34～

37 国立特別支援教育総合研究所 …………… P34	46 防災科学技術研究所 …………… P35
38 大学入試センター …………… P34	47 東京国立近代美術館 …………… P35
39 国立青少年教育振興機構 …………… P34	48 国立映画アーカイブ …………… P35
40 国立赤城青少年交流の家 …………… P34	49 国立西洋美術館 …………… P35
41 国立妙高青少年自然の家 …………… P34	50 国立新美術館 …………… P35
42 国立信州高遠青少年自然の家 …………… P35	51 東京国立博物館 …………… P36
43 国立女性教育会館 …………… P35	52 東京文化財研究所 …………… P36
44 国立科学博物館 …………… P35	53 教職員支援機構 …………… P36
45 物質・材料研究機構 …………… P35	54 大学改革支援・学位授与機構 …………… P36

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(8機関) P36～

55 国立高等専門学校機構本部事務局 …………… P36
56 茨城工業高等専門学校 …………… P36
57 小山工業高等専門学校 …………… P37
58 群馬工業高等専門学校 …………… P37
59 木更津工業高等専門学校 …………… P37
60 東京工業高等専門学校 …………… P37
61 長岡工業高等専門学校 …………… P37
62 長野工業高等専門学校 …………… P37

特別な学校法人

(1機関) P38

63 放送大学学園 …………… P38

各機関の紹介

関東甲信越地区の全63機関の紹介です。
 求める人物像やメッセージも掲載していますので、
 ぜひ、参考にしてください。
 (職員数はR6.5.1現在、東京科学大学のみR6.10.1現在)

- 国立大学法人
- 大学共同利用機関法人
- 独立行政法人
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構
- 特別な学校法人



1 国立大学法人 茨城大学

学生が活気にあふれ、教職員がやる気に満ち、地域が元気になる、ダイバーシティを活かした大学に

茨城大学は、1949年5月に開学した75年の歴史をもつ総合大学です。知の拠点として地域社会と協力し、学生がたくましく育つ大学、世界で特色が輝く大学をめざします。本学では、若い皆さんの感性による柔軟な発想、チャレンジ精神、向上心を活かした大胆な行動力を期待しています。新しい時代の大学として変化を続ける茨城大学を支えていきたいという志のある方を求めています。

■ 千310-8512
 茨城県水戸市文京2丁目1番1号
 ■ 総務部人事務課(採用担当)
 ☎ 029-228-8014
 ■ 全教職員数(常勤)854名
 (うち 事務職員222名、
 図書職員8名、技術職員41名)



2 国立大学法人 筑波大学

**[IMAGINE THE FUTURE.]
 ~私たちと一緒に未来を創造していきましょう!**

筑波大学は、研究学園都市筑波の地で、常に創造的な挑戦を続ける「未来構想大学」として、国境や機関などあらゆる壁を越える「トランスボーダー大学」への飛躍を目指して改革を続けています。本学が様々な分野で新しい挑戦や改革を進めていくためには、新しい感性を持ったみなさんの力が不可欠です。「未来のフロントランナー」筑波大学で、あなたの力を発揮してみませんか。

■ 千305-8577
 茨城県つくば市天王台1-1-1
 ■ 総務部人事課(事務系任用)
 ☎ 029-853-2090・2091
 ■ 全教職員数(常勤)5,434名
 (うち 事務職員1,135名、
 図書職員47名、技術職員259名)



3 国立大学法人 筑波技術大学

聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関

筑波技術大学は、聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関として1987年に設立された大学であり、聴覚障害者が学ぶ産業技術学部と視覚障害者が学ぶ保健科学部の2学部から構成されています。本学職員に特別な能力は必要ありません。社会人としての基本的能力や変化に対応できる柔軟性に加え、自立した学生を社会に送り出すためのサポートができる方をお待ちしています。

■ 千305-8520
 茨城県つくば市天久保4-3-15
 ■ 大学戦略課人事係
 ☎ 029-858-9308・9309
 ■ 全教職員数(常勤)169名
 (うち 事務職員47名、図書職員2名、技術職員9名)



4 国立大学法人 宇都宮大学

最高にちょうどいい! そんな距離感と規模感の大学

宇都宮大学は、「地域とともに学生の未来をつくり、学生とともに地域の未来をつくる」この方針の下、栃木県唯一の国立総合大学として、地域の知の拠点、地域活性化のエンジンとなるべく、教職員一丸となって大胆な改革に挑戦しています。最先端の研究設備や豊かな自然がある、最高にちょうどいい!宇都宮大学で自ら考え行動できる方、是非一緒に働きましょう!

■ 千321-8505
 栃木県宇都宮市峰町350
 ■ 企画総務部人事課人事総括係
 ☎ 028-649-5022
 ■ 全教職員数(常勤)621名
 (うち 事務職員147名、
 図書職員2名、技術職員52名)



5 国立大学法人 群馬大学

群を抜け 駆ける世界を

群馬大学は、4学部、7大学院のほか、医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学推進機構などを擁する北関東を代表する総合大学です。教員、技術職員、事務職員が一丸となって成果を生み出すためには、事務職員は支援者ではなく、牽引者でなければなりません。情熱とチャレンジ精神を持って仕事に取り組み、より良い群馬大学を目指していける方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

■ 千371-8510
 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
 ■ 総務部人事務課人事企画係
 ☎ 027-220-7024・7025
 ■ 全教職員数(常勤)2,435名
 (うち 事務職員353名、
 図書職員5名、技術職員65名)



国立大学法人等とは
 私たちのフィールド
 私たちのキャリア形成
 私たちのフューリング・バランス
 国立大学法人
 大学共同利用機関法人
 独立行政法人
 独立行政法人 国立高等専門学校機構
 特別な学校法人



6



国立大学法人 埼玉大学

働きやすさもやりがいもギュッと詰まって All in One

埼玉大学は、文系、理系、教員養成系の多様な学部・研究科を兼ね備え、日本人、外国人、社会人といった多様な学生と教職員が1つのキャンパスに集まっています。この特性を最大限に活かし、人材育成や研究活動等の様々な面で文理融合を推進し、現代が抱える課題の解決を図っています。役教職員が顔の見える環境で一丸となって働ける協調性や柔軟な発想力のある方を求めています。未来の埼玉大学を共に創っていきましょう！

- 〒338-8570
埼玉県さいたま市校区下大久保255
- 総務部人事課人事第一係
☎ 048-858-3009
- 全教職員数(常勤)729名
(うち 事務職員174名、
図書職員2名、技術職員40名)



7



国立大学法人 千葉大学

つねに、より高きものをめざして

千葉大学では、グローバル人材育成プラン「ENGINE」の下、令和2年から全学生に留学を必修化しています。またデータサイエンティストを育成する「情報・データサイエンス学部」及び「情報・データサイエンス学府」を令和6年に開設しました。「つねに、より高きものをめざして」という理念の下、世界に冠たる千葉大学を目指し弛みない挑戦を続ける本学で、あなたも活躍してみませんか？

- 〒263-8522
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
- 総務部人事課人材戦略係
☎ 043-290-2028
- 全教職員数(常勤)3,633名
(うち 事務職員 627名、
図書職員 16名、技術職員 122名)



8

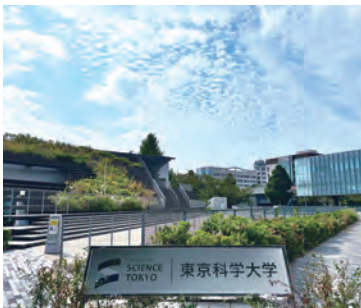


国立大学法人 東京大学

創りたい未来がある。語りたい使命がある。

東京大学は、世界の公共性に奉仕する総合大学として、「優れた多様な人材の輩出」と「地球規模の課題解決」に取り組んでおり、新たな大学モデルの構築に向けて教職協働で改革を行っています。より良い未来社会の創造に向け、職員一人ひとりの力が東大を動かします。多様な構成員と協働しながら、柔軟な姿勢で業務改革に意欲的に取り組めるみなさんをお待ちしております！

- 〒113-8654
東京都文京区本郷7-3-1
- 本部人材育成課職員採用・研修チーム
☎ 03-5841-2317・1975
- 全教職員数(常勤)8,243名
(うち 事務1,493名、
図書146名、技術549名)



9



国立大学法人 東京科学大学

科学の進歩と、人々の幸せと。

東京科学大学は、それぞれに歴史を持つ東京医科歯科大学と東京工業大学が統合して、2024年10月に誕生した国立大学です。「『科学の進歩』と『人々の幸せ』とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する」をMissionに掲げ、両大学の伝統と先進性を生かしながら教職員一丸となり、どの大学もなしえなかった新しい大学の在り方を創出していきます。

- 〒152-8550
東京都目黒区大岡山2-12-1
- 人事部人材育成課
☎ 03-5734-2052
- 全教職員数(常勤)4,960名
(うち 事務職員1,250名、
技術職員137名)



10



国立大学法人 東京外国語大学

多様性を力に変え、多文化共生に寄与する

1873年建学以来、外国の言語とそれを基底とする文化、社会問題等についての教育・研究を通して、日本と世界諸地域を結ぶ取り組みを行ってきました。小規模ながらも国際色豊かな本学は、幅広い業務経験や語学研修の機会に富み、一人一人が大きく飛躍できる可能性に満ちています。世界各地からの学生とともに成長する喜びを一緒に感じてみませんか？好奇心・チャレンジ精神旺盛な方のご応募をお待ちしております。

- 〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
- 総務企画部人事労務課人事労務係
☎ 042-330-5127
- 全教職員数(常勤)396名
(うち 事務職員105名、
図書職員8名、技術職員6名)



11



国立大学法人 東京学芸大学

『教育の総合大学』～教員養成系大学・学部の中核的役割を担う～

本学は、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的とし、学校教育とその周囲を支える教育マインドをもった人材を育成する「教育の総合大学」を目指しています。

本学の使命である教育者養成は、未来を担う子どもを育てる人材を育てるという非常にやりがいのある仕事です。私たちと一緒に教員と協働しながら、大学や学生の更なる成長を支えていきましょう。

- 〒184-8501
東京都小金井市貫井北町4-1-1
- 総務部人事課人事係
☎ 042-329-7124
- 全教職員数(常勤)844名
(うち 事務職員204名、
図書職員10名、技術職員15名)





12 TUAT 国立大学法人 東京農工大学

地球をまわす 世界第一線の研究大学へ
 人とかがやく Flourishing Together

東京農工大学は農学、工学及びその融合領域における教育研究を通じて世界トップレベルの大学を目指し、全員で改革に臨む活気溢れる大学です。誰でも大学づくりに参加できる本学では、社会・世界を見据えた、意義ある仕事に取り組むことができます。武蔵野に位置する、自然と造形にあふれた職場で、皆さんの持つ可能性、力を存分に発揮して、世界を舞台に活躍する大学と一緒に創り上げていきませんか。

■〒183-8538
 東京都府中市晴見町3-8-1
 ■総務部人事課任用係
 ☎ 042-367-5509
 ■全教職員数(常勤)634名
 (うち 事務職員174名、
 図書職員7名、技術職員48名)



13 国立大学法人 東京藝術大学

芸術には無限の可能性が秘められており、
 本学が果たす役割は一層高まっています。

東京藝術大学は世界にも類を見ない総合芸術大学です。本学は、次代の芸術家の育成や我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが求められていますが、大学を取り巻く環境が大きく変化し、新たな課題も増えています。その課題を一緒に解決することのできる、若い力を求めています。本学では、各種研修のほか学生の研修旅行に同行し奈良・京都の古美術を学ぶプログラムも実施しています。

■〒110-8714
 東京都台東区上野公園12-8
 ■総務課人事係
 ☎ 050-5525-2016
 ■全教職員数(常勤)450名
 (うち 事務職員159名、
 図書職員12名、技術職員11名)



14 国立大学法人 東京海洋大学

我が国唯一の海洋系総合大学として、
 世界最高水準の卓越した大学を目指す

東京海洋大学は、東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生した、140年を越える長い歴史と格式の高い伝統を有する我が国唯一の海洋系総合大学です。
 小規模大学の本学では教育・研究を支える職員の役割は重要で、様々な場面で活躍する機会があります。今後は更に国際化・高度化の要請に応えるため多様な人材育成の推進を図っており、一緒に大学を創る力を求めています。

■〒108-8477
 東京都港区港南4-5-7
 ■総務部人事課任用・給与係
 ☎ 03-5463-0356
 ■全教職員数(常勤)477名
 (うち 事務職員139名、
 図書職員7名、
 技術職員86名(船員含む))



15 国立大学法人 お茶の水女子大学

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、
 真摯な夢の実現される場として存在する

お茶の水女子大学は、日本最初的女子高等教育機関として1875年に開校され、以来、女子最高学府としての使命を担っており、現在もわが国と世界の未来を担う女性の育成に取り組んでいます。また、男女共同参画もいち早く手がけ、教職員の半数以上が女性となっています。そのほか、早出遅出勤務制度や在宅勤務制度など職員の働きやすい環境の整備も進んでいます。

■〒112-8610
 東京都文京区大塚2丁目1番1号
 ■人事務課人事担当
 ☎ 03-5978-5109
 ■全教職員数(常勤)481名
 (うち 事務職員92名、
 図書職員11名、技術職員7名)



16 UEC 国立大学法人 電気通信大学

～私たちが思い描くSociety 5.0、
 すなわち「共創進化スマート社会」の実現に向けて～

本学ではきたる未来社会(Society 5.0)を「共創進化スマート社会」と定義し、その実現に向けて、最先端科学・技術の教育と研究を加速させています。京王線調布駅徒歩5分に位置し、緑豊かな恵まれたキャンパスです。私達と一緒に学生、教員を支え大学の未来に向けて活躍して下さる方をお待ちしております!

■〒182-8585
 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
 ■総務部人事務課人事企画係
 ☎ 042-443-5021
 ■全教職員数(常勤)540名
 (うち 事務職員113名、
 図書職員7名、技術職員12名)



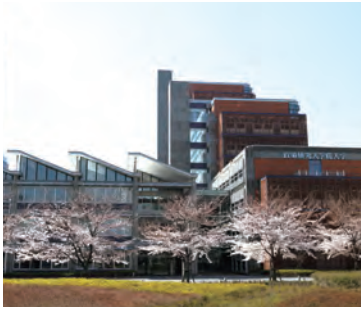
17 国立大学法人 一橋大学

"Captains of Industry ~知と業(わざ)のフロンティア~"

一橋大学では
 ●世界最高水準の先端的研究・教育拠点としてさらなる発展を目指すため、自らが大学運営の担い手として、教員と一体となって業務に取り組む意欲がある人
 ●様々な課題に対して、柔軟な姿勢で臨機応変な対応がとれる人
 ●人の成長やスキルアップ、キャリアアップを積極的にサポートできる人
 ●一橋大学に愛着と帰属意識を持ち、高い志を持って職務を遂行できる人を求めています。

■〒186-8601
 東京都国立市中2-1
 ■総務部人事課人事係
 ☎ 042-580-8023
 ■全教職員数(常勤)688名
 (うち 事務職員270名、
 図書職員20名、技術職員5名)





18



国立大学法人 政策研究大学院大学

知の探究を通じてSDGsに貢献する 国際的な政策研究・教育の拠点

政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治と高度化に貢献するというビジョンのもと、政策に関する研究・教育の両面において卓越した拠点となることを目指す大学院大学です。職員はフレックスタイム制をとっており働きやすい職場です。積極性・柔軟性・創造力をバランス良く備えた人材を求めています。一緒に大学を作っていきましょう！

- 〒106-8677
- 東京都港区六本木7-22-1
- 組織マネジメント課人事室
- ☎ 03-6439-6019
- 全教職員数(常勤)145名
(うち 事務職員73名、
図書職員4名)



19



国立大学法人 横浜国立大学

知の統合型大学として、世界水準の研究大学を目指して

本学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を建学から培われた精神として掲げ、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを宣言しています。世界水準の研究大学を共に築いていきましょう。

- 〒240-8501
- 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番1号
- 総務企画部人事・労務課任用係
- ☎ 045-339-3022
- 全教職員数(常勤)1,002名
(うち 事務職員247名、
図書職員9名、技術職員46名)



20



国立大学法人 総合研究大学院大学

世界トップレベルの研究機関で
次世代を担う博士研究者を育成しています

本学は、大学共同利用機関等が有する豊富な人材と研究環境を活用し、次世代を担う研究者を養成することを目的に設立された、日本初の博士課程だけの大学院大学です。各機関と緊密に連携・協力しながら大学運営を担う葉山本部の事務局は小規模な組織のため、早いうちから様々なことにチャレンジできます。「研究者人材の育成に貢献したい」という志のある方のご応募をお待ちしております。

- 〒240-0193
- 神奈川県三浦郡葉山町
(湘南国際村)
- 総務課人事係
- ☎ 046-858-1510
- 全教職員数(常勤)56名
(うち 事務職員40名、
図書職員1名)



21



国立大学法人 新潟大学

私が支えたい大学は、新潟を支えている

新潟大学は自律と創生を理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを目的としています。本学では、プロフェッショナルとして主体的に組織運営の企画・立案・実行を担う人材を求めています。大規模総合大学である本学だからこそ、周囲と連携しつつ、多様な業務経験の中で自己を高めることができます。自然きらめくキャンパスで、あなたの力を発揮してみませんか？

- 〒950-2181
- 新潟県新潟市西区五十嵐2の町
8050番地
- 総務部人事企画課人事係
- ☎ 025-262-7615
- 全教職員数(常勤)3,252名
(うち 事務職員413名、
図書職員15名、技術職員114名)



22



国立大学法人 長岡技術科学大学

”技術”を先導し、持続可能な社会の実現に貢献する

長岡技術科学大学は、2026年に創立50周年を迎えます。本学では、未来社会で持続的に貢献する実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成することを理念とし、地域社会及びグローバル社会に不可欠な大学を目指しています。教職員の距離が近く、若手職員も企画・運営に参画して各々の力を発揮しています。本学をより良い大学にしていく熱意を有する方をお待ちしております。

- 〒940-2188
- 新潟県長岡市上高岡町1603-1
- 総務課人事労務室人事係
- ☎ 0258-47-9205
- 全教職員数(常勤)366名
(うち 事務職員127名、
図書職員3名、技術職員31名)



23



国立大学法人 上越教育大学

ぜったい先生になりたい人と先生のための大学！

上越教育大学は、初等教育教員の養成と教員の更なる資質能力の向上を主目的とした教育大学です。小規模な大学のため、教職員間の距離が近く、アットホームで和やかな雰囲気職場です。①コミュニケーションを大切に、②意欲的に業務に取り組む③明るく元気な方を求めています。『未来を担う子ども達のための教員を育てる』上越教育大学を私たちと一緒に更に素晴らしい大学にしていきたいと思います。

- 〒943-8512
- 新潟県上越市山屋敷町1番地
- 人事課人事・労務チーム
- ☎ 025-521-3217・3218
- 全教職員数(常勤)281名
(うち 事務職員95名、
図書職員4名、技術職員6名)





24 国立大学法人
山梨大学

地域の中核、世界の人材

山梨大学は教育・医・工・生命環境の4つの学部と大学院からなる、山梨県唯一の国立大学で、専門分野に特化したセンター等での先端的な研究活動を行っています。組織が小規模な分、意思決定が早く、組織の隅々まで活性化している元気のある大学です。若手職員も協働して企画にかかわり、それぞれの力を発揮しています。山梨大学の未来をともに創っていきましょう。

■〒400-8510
 山梨県甲府市武田4-4-37
 ■人事部人事課任用・事務グループ
 ☎ 055-220-8742・8008
 ■全教職員数(常勤)2,272名
 (うち 事務職員267名、
 図書職員5名、技術職員9名)



25 国立大学法人
信州大学

信州の「知の森」を、ともに

緑豊かな信州に5つのキャンパスを有した信州大学は、地域社会や産業界と連動した活動を積極的に展開し、直近の地域貢献度ランキングでは第2位に。先鋭領域融合研究群を中心に世界的な教育研究を行うとともに、多分野にわたる全国的な教育研究拠点として活動をし、「最も学んでみたい大学」を目指しています。
 信州大学を愛し、大学のステップアップにご尽力いただける方をお待ちしています。

■〒390-8621
 長野県松本市旭3-1-1
 ■総務部人事課人事総務グループ
 ☎ 0263-37-2041
 ■全教職員数(常勤)2,700名
 (うち 事務職員422名、
 図書職員22名、技術職員69名)



26 大学共同利用機関法人
人間文化研究機構事務局

**人間文化の総合的学術研究の国際的拠点へ
 —「多様で一体」をスローガンに—**

研究者の自由な発想による先端的な研究活動には、機構を運営し、研究を支援する事務・技術職員の存在が欠かせません。人文機構本部事務局では、機構全体の総務、広報、法人評価、研究支援、財務及び施設等の業務を行うとともに、機構を構成する6機関の総括・調整を行っています。6機関の架け橋として、「多様で一体」をスローガンとする本機構の一員として、あなたの能力を発揮してみませんか。

■〒105-0001
 東京都港区虎ノ門4-3-13
 ヒューリック神谷町ビル2F
 ■総務課人事係
 ☎ 03-6402-9215
 ■全教職員数(常勤)61名
 (うち 事務職員25名、
 技術職員4名)



27 大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館

**日本の歴史文化知のための
 オープンサイエンス研究基盤の構築を目指して!**

国立歴史民俗博物館(歴博)は、大学共同利用機関として、文献史学・考古学・民俗学および自然科学を含む関連諸科学の協業によって、大学をはじめとする国内外の研究者とともに、学際的で先進的な研究を推進しています。また、国立で唯一の歴史民俗系博物館として、「博物館型研究統合」の理念の基、総合展示や企画展示の開催により、収集した貴重な資料及び研究成果を広く一般に公開しています。

■〒285-8502
 千葉県佐倉市城内町117
 ■管理部総務課人事係
 ☎ 043-486-6472
 ■全教職員数(常勤)94名
 (うち 事務職員45名、
 技術職員4名)



28 大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国文学研究資料館

世界でトップの日本文学研究拠点

国文研は、日本文学に関する文献等資料の調査研究、収集、整理、保存等を行っており、集積した資料は国内外の研究者及び利用者の方々に提供しています。また、大規模画像データベースの公開・管理、展示、講演会、シンポジウム等様々な事業を行うほか、大学院教育にも携わっています。
 当館は仕事に積極的に取り組む意欲のある方をお待ちしています。

■〒190-0014
 東京都立川市緑町10-3
 ■管理部総務課人事係
 ☎ 050-5533-2908・2909
 ■全教職員数(常勤)70名
 (うち 事務職員28名、
 図書職員12名、技術職員3名)



29 大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国語研究所

**「コトバ」を研究し、豊かな社会づくりに貢献する
 ～日本語の研究推進・情報発信～**

国語研は、日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的・中核的拠点として、日本語の特質を解明しようとしている研究所です。世界中の言語の一つとしての日本語研究を通して、日本語を未来へ継承・発展させていこうとしています。そのために国内外の研究者と共同研究を実施し、研究成果を学術資料やデータベース等で広く提供しています。あなたも「コトバ」を未来につなぐ仕事に携わってみませんか。

■〒190-8561
 東京都立川市緑町10-2
 ■管理部総務課人事係
 ☎ 042-540-4376
 ■全教職員数(常勤)59名
 (うち 事務職員25名、
 図書職員2名、技術職員5名)





30 NINS 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構事務局

～宇宙・生命・物質・エネルギー～ 最先端の自然科学研究分野を牽引!

自然科学研究機構(NINS)には、5つの大学共同利用機関(国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所)があり、最先端の自然科学研究分野を牽引し、各分野とその垣根を越えた共同利用・共同研究の促進と、国際共同研究拠点としての中核を担っています。幅広い視野を持ち、時代や社会の変化に柔軟に対応できる方、ぜひその力を発揮してみませんか。

- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
- 事務局人事労務課人事給与係 ☎03-5425-2035
- 全職員数(常勤)32名 (うち 事務職員32名)

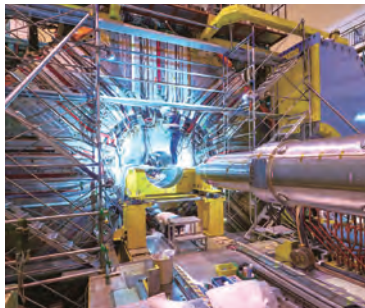


31 NAOJ 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台

はらかな時と膨大な距離を超え届く宇宙からのメッセージ

国立天文台は、すばる望遠鏡やアルマ望遠鏡を筆頭に、世界最先端の観測装置を有する天文学のナショナルセンターです。大学共同利用機関として、観測・研究・開発を推進し、国内に留まらず、国際協力のもと天文学および関連分野の発展のために活動しています。天文学の専門知識は問いません。これら活動を支え導く職員として、みなさんの持つ積極性、柔軟な発想と広い視野を活かしてみませんか。

- 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2丁目21番1号
- 事務部総務課人事係 ☎0422-34-3657
- 全教職員数(常勤)398名 (うち 事務職員57名、図書職員1名、技術職員38名)



32 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

加速器だから見える世界。-宇宙・物質・生命の謎を解く-

高エネルギー加速器研究機構(KEK)は、最先端の大型粒子加速器を用いた加速器科学の総合的発展の拠点として、宇宙の起源、物質や生命の根源の探求を目指す研究所です。1971年に大学共同利用機関第一号として設立以来、約50年にわたり国内外の研究者に対して研究の場を提供し、基礎科学を推進しています。あなたも最先端の研究所で世界に誇れる仕事をしていませんか。

- 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
- 総務部人事・職員課人事第二係 ☎029-864-5117
- 全教職員数(常勤)614名 (うち 事務職員166名、技術職員142名)



33 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

あなたの支える研究が世界を変える

情報・システム研究機構は、生命・地球・環境・社会などに関わる複雑な問題を情報とシステムという観点からとらえ、実験や観測による大量情報の生成、データベース構築、さらにそこから知識の抽出と活用に関する研究を行うとともに、その研究基盤を大学等の研究者に提供・支援します。日本全体の学術研究を推進すること、それを目指して、日々、真剣に仕事に励む人達がいます。

- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
- 本部事務部総務課人事・労務係 ☎03-6402-6209
- 全教職員数(常勤)48名 (うち 事務職員36名、技術職員3名)



34 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所

極地観測と極域科学研究を総合的に行う日本唯一の研究機関

国立極地研究所は、極地に関する科学の総合研究と極地観測を行うことを目的に1973年に設置された大学共同利用機関です。南極・北極に有する観測基地におけるフィールド観測を基盤に、資・試料の分析、データ解析、モデリングを通じ地球科学、環境科学、太陽系地球科学、宇宙・惑星科学、生物科学などを包括した先進的総合地球システム科学を共同研究として推進しています。

- 〒190-8518 東京都立川市緑町10-3
- 情報・システム研究機構 本部事務部総務課人事・労務係 ☎03-6402-6209
- 全教職員数(常勤)160名 (うち 事務職員55名、図書職員1名、技術職員30名)



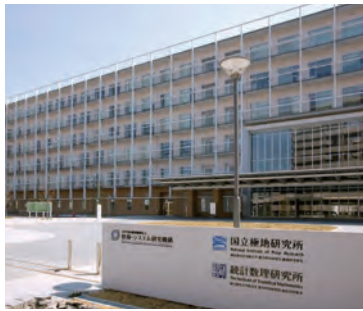
35 NII 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

人と社会をつなぐ情報学— 活気あふれる若い力が見つめているのは情報社会の未来です。

国立情報学研究所(NII)は日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、長期的な視点に立つ基礎研究から社会課題の解決を目指した実践的研究まで、総合的に研究を推進しています。同時に、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に必須となる最先端の学術情報基盤や学術コンテンツ、および、サービスの提供といった事業を展開しています。

- 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センタービル
- 情報・システム研究機構 本部事務部総務課人事・労務係 ☎03-6402-6209
- 全教職員数(常勤)305名 (うち 事務職員74名、図書職員14名、技術職員50名)





36



大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所

知を結ぶ最先端科学「統計数理」に関する日本唯一の研究教育機関

統計数理研究所は、昭和19年に設立されて以来、日本における統計数理研究の中心的な機関として役割を果たしてきました。統計数理とは、データをもとに数理を道具として、合理的予測の実現を目的に、散在・偏在している様々な知識を「つなぐ」方法を研究する学問です。この特性を活かし、研究者、大学、産業と学術をつなぎ、学術と一般社会をつなぐことで、社会に貢献したいと考えています。

- 〒190-8562
- 東京都立川市緑町10-3
- 情報・システム研究機構
- 本部事務部総務課人事・労務係
- ☎ 03-6402-6209
- 全教職員数(常勤)114名
- (うち 事務職員20名、
- 図書館職員2名、技術職員8名)



37



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

障害のある子ども一人一人のニーズに対応した教育の実現に貢献します

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターです。特別支援教育に関する研究活動、教職員への研修事業、情報の収集・発信などの事業を行っています。事務職員は、総務、人事、会計、評価、研修事業の実施など、幅広い業務に携わります。特別支援教育に関する知識がなくても大丈夫です。障害のある子どもたちの未来のために貢献する意欲がある方をお待ちしています！

- 〒239-8585
- 神奈川県横浜須賀野比5-1-1
- 総務部総務企画課人事係
- ☎ 046-839-6925
- 全教職員数(常勤)74名
- (うち 事務職員36名)



38



独立行政法人 大学入試センター

志願者数は約49万人。日本で唯一の大規模試験を実施・運営しています。

本センターは、「大学入学共通テストに関する業務等を行うことにより、大学入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校等における教育の振興に資する」ことを目的としている日本で唯一の機関です。志願者数約49万人の大学入学共通テスト(旧:大学入試センター試験)の実施と運営のため、私たちと一緒に情熱をもって取り組んでいただける方を文系・理系問わず求めています。

- 〒153-8501
- 東京都目黒区駒場2-19-23
- 総務部総務課人事・人材係
- ☎ 03-5478-1215
- 全職員数(常勤)115名
- (うち 事務職員99名、
- 技術職員1名)



39



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

誰一人取り残すことなく、全ての子供たちに良質な体験を提供します

当機構は「体験活動を通じた青少年の自立」という目的を掲げ、平成18年4月に発足しました。青少年教育のナショナルセンターとして、全国28の教育施設にて特色のある活動を展開し、青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

我が国の青少年教育をリードする気概を持ち、課題意識に基づく向上心とチャレンジ精神を持って何事にも取り組める職員を求めています。

- 〒151-0052
- 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
- 総務部人事課人事企画係
- ☎ 03-6407-7643
- 全職員数(常勤)502名
- (うち 事務職員497名、
- 技術職員4名)



40



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

本物体験 学びの宝庫

当施設は、赤城山南麓の標高530メートルに位置し、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。赤城山の自然環境を活用した体験活動や研修活動をとおり、「青少年の自立」と「体験活動の普及」を目指します。

子供たちを身近に感じられる当施設で、私たちと一緒に研修活動をサポートしていきましょう。

- 〒371-0101
- 群馬県前橋市富士見町赤城山27
- 総務係
- ☎ 027-289-7203
- 全職員数(常勤)13名
- (うち 事務職員13名)



41



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

豊かな体験活動を妙高で!!

当施設は、美しく雄大な妙高山の山麓に位置し、緑があふれるグリーンシーズン、豊富な雪のホワイトシーズンに、それぞれの自然の恵みを活かし、盛りだくさんの魅力ある体験活動を青少年に提供しています。

私たち職員は、「チーム妙高」として、地域の皆様と一緒に、高い誇りをもって業務に当たっています。次世代を担う子供たちの自立のために、ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか。

- 〒949-2235
- 新潟県妙高市大字関山6323-2
- 総務・管理係
- ☎ 0255-82-4324
- 全職員数(常勤)15名
- (うち 事務職員15名)





42



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

「自然の豊かさを見つけよう 考えよう 味わおう 楽しもう」

当施設は、壮大な南アルプスと中央アルプスの秀峰を望み、タカトコヒガンザクラと城下町で知られる伊那市高遠町の晴ヶ峰高原に所在しています。青少年をはじめとする施設利用者に対して、日常生活では体験することができない非日常的な感動体験を通して、青少年の自立と体験活動の普及に取り組んでいます。

■〒396-0301
長野県伊那市高遠町藤沢
6877-11
■総務係
☎ 0265-96-2528
■全職員数(常勤)13名
(うち 事務職員13名)



43



独立行政法人 国立女性教育会館

我が国の男女共同参画ネットワークの中核—NWECC(ヌエック)

国立女性教育会館(NWECC)は、男女共同参画社会形成の促進に資することを目的とした我が国唯一の女性教育のナショナルセンターです。我が国は、政策・意思決定過程への女性の参画が少なく、ジェンダー・ギャップ指数が146か国中118位であることや男性中心の働き方など課題が山積しており、目的の実現は未だ道半ばです。男女共同参画社会の実現を目指して、NWECCと一緒に働いてみませんか。

■〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
■総務課人事・企画係
☎ 0493-62-6719
■全職員数(常勤)23名
(うち 事務職員19名、
図書職員4名)



44



独立行政法人 国立科学博物館

1877年に創立された、自然史・科学技術史に関する
国立唯一の総合科学博物館

国立科学博物館は、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的として上野本館、筑波実験植物園、附属自然教育園を設置しています。事務職員は、総務・財務・研究支援などを担う管理部門、展示・学習支援・企業地域連携などを担う事業部門があり、幅広い業務に携わっています。シンボルマークのキャッチコピーである「想像力の入り口」となるべく、私たちと一緒に新しい科博を創っていきましょう。

■〒110-8718
東京都台東区上野公園7-20
■経営管理部総務課
人事・労務担当
☎ 03-5814-9816
■全職員数(常勤)141名
(うち 事務職員79名、
技術職員1名)



45



国立研究開発法人 物質・材料研究機構

材料で、世界を変える

人類の発展と共に進歩する材料。地球規模の環境・資源問題の解決手段の一つとしても注目されています。NIMSはNIMSビジョン「材料で、世界を変える」を掲げ、物質・材料の進化と革新を先導し、未来社会を豊かにします。研究機関の運営や環境作りを行う事務職の仕事を通じ、研究と社会還元と一緒に貢献しませんか。多様な業務の中であなたに相応しいキャリアを見つけてください。

■〒305-0047
茨城県つくば市千現1-2-1
■人材部門人事室
☎ 029-859-2472/2125
■全職員数(常勤)558名
(うち 事務職員107名、
技術職員79名)



46



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

生きる、を支える科学技術 SCIENCE FOR RESILIENCE

国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的に行い、防災科学技術の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指しています。

■〒305-0006
茨城県つくば市天王台3-1
■総務部人事課
☎ 029-851-1611
■全職員数(常勤)340名
(うち 事務職員184名)



独立行政法人 国立美術館 47 東京国立近代美術館

48 国立映画アーカイブ 49 国立西洋美術館 50 国立新美術館

あらゆる人に開かれた美術館を目指して…

国立美術館は、我が国の美術振興の中心的拠点として、国内外の美術作品等を収集・保管・展示し、文化芸術の多様な価値を生かした社会づくりに向けて、館ごとに個性豊かで多彩な活動を展開しています。採用後は、総務・人事・財務・会計、渉外・広報などの業務に携わり、国立美術館の管理・運営の様々な角度へ活躍の場を拡げることができます。

■〒102-8322
東京都千代田区北の丸公園3-1
■独立行政法人国立美術館
本部事務局人事担当係
(東京国立近代美術館
運営管理部門人事担当係)
☎ 03-3214-2583
(ダイヤルイン)
■全教職員数(常勤)148名
(うち 事務職員75名、
技術職員1名)



国立大学法人等とは

私たちのフィールド

私たちのキャリア形成

私たちのフロンティア

国立大学法人

大学共同利用機関法人

独立行政法人

独立行政法人国立高等専門学校機構

特別な学校法人



51  **東京国立博物館** 独立行政法人国立文化財機構
東京国立博物館


日本の伝統と文化を未来へ、そして世界へ伝えたい

東京国立博物館は1872年(明治5年)に創設された日本初の博物館です。日本と東洋の美術・考古遺物を収集・保存・展示するほか、多くの方々はその美と文化、そして博物館に親しんでいただく機会の提供に努めています。

事務職員は、総務・人事・経理他等の国立大学法人等と同様の業務だけではなく、展示やイベント等に係わる博物館ならではの業務に就くこともあります。

■〒110-8712
 東京都台東区上野公園13-9
 ■本部事務局総務企画課
 (人事担当)
 ☎ 03-3822-1111
 ■全職員数(常勤)165名
 (うち 事務職員59名、
 技術職員8名)



52  **東京文化財研究所** 独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所


基礎的・実践的な調査研究による、
 有形・無形の文化財の保存・修復・公開へ

東京文化財研究所は、国の文化財全般の調査研究や保存修復、文化遺産保護の国際協力を行う研究所です。1952(昭和27)年の創設以来、有形・無形文化財の基礎的・先端的な調査研究を進め、文化財保護行政を支える役割を果たしてきました。

当研究所は小規模ながら精鋭の職員を配し、日々の業務にあたっています。総務・会計・国際協力事業などの企画渉外等の業務があります。

■〒110-8713
 東京都台東区上野公園13-43
 研究支援推進部管理課総務係
 ☎ 03-3823-2244
 ■全職員数(常勤)43名
 (うち 事務職員6名、
 技術職員1名)

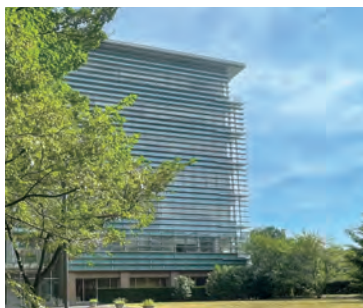


53  **教職員支援機構** 独立行政法人

全国の教職員の資質向上の総合的支援を行う中核拠点として

本機構は、全国の教職員の資質向上を目的とし、教職員に対する研修の実施・コンテンツ配信・プログラム開発、加えて、当該目的に関する調査研究や教員免許に関する事業を行っています。これらの事業を踏まえ、教職員の資質向上を図るための総合的支援を行う中核拠点として大学や教育委員会等の学校教育関係機関を結ぶネットワークづくりなどに取り組んでいます。次代を担う子供たちの教育とよりよい未来社会の形成のために一緒に働きましょう。

■〒305-0802
 茨城県つくば市立原3番地
 ■総務部総務企画課人事係
 ☎ 029-879-6611
 ■全教職員数(常勤)46名
 (うち 事務職員45名)



54  **大学改革支援・学位授与機構** 独立行政法人

高等教育の質の向上を支援し、我が国の高等教育の発展に寄与する

当機構は、我が国の高等教育の発展に資するため、評価事業、施設費貸付・交付事業、学位授与事業、質保証連携、及びこれらの事業に関連する調査研究を実施しています。また、我が国社会の発展に寄与するため、デジタル・グリーン分野の人材育成支援に向けた助成事業も開始しました。日本の高等教育の質の向上と発展の支援に興味のある方、ぜひ当機構で働いてみませんか。ご応募お待ちしております!

■〒187-8587
 東京都小平市学園西町1-29-1
 ■管理部総務課人事第1係
 ☎ 042-307-1514
 ■全教職員数(常勤)176名
 (うち 事務職員157名)



55  **国立高等専門学校機構本部事務局** 独立行政法人

情熱ある若者が未来を創造する実践的技術者に成長するまでサポート

高等専門学校は、実践的・創造的技術者を養成するため、中学卒業後から5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。機構本部事務局は、全国51の国立高専の「舵取り役」「縁の下力持ち」として企画・管理業務を行い、約5万人の学生・約6千人の教職員を支える重要な役割を担う組織です。「高専・学生のために何ができるか」を考え行動できる方と一緒に高専の未来を創ってきたいと思っています。

■〒193-0834
 東京都八王子市東浅川町701-2
 ■人事課人事係
 ☎ 042-662-3158
 ■全教職員数(常勤)143名
 (うち 事務職員89名、
 技術職員18名)



56  **茨城工業高等専門学校** 独立行政法人国立高等専門学校機構

進化する創造力
 世界で活躍し世界に貢献できるグローバル・エンジニアの育成を目指して

茨城高専では教育・研究の質保証、向上、そして、社会の変化に敏感に対応した教育改革、地域連携強化、グローバル化を教職員が一丸となって進めています。

本校には様々な課題や変化に柔軟に対応できる方、周囲と協調し責任感を持って意欲的に仕事に取り組んでいただける方の力が必要です。あなたの力を発揮し、一緒に茨城高専の未来を創っていきませんか。

■〒312-8508
 茨城県ひたちなか市巾着866
 ■総務課人事・労務係
 ☎ 029-271-2808
 ■全教職員数(常勤)110名
 (うち 事務職員27名、
 技術職員14名)





57 独立行政法人国立高等専門学校機構
小山工業高等専門学校

ひとをつくり、ものをつくり、社会とつなげよう

高専は、教育現場であり、地域社会における研究拠点でもあります。その中で関わる職員や教員、学生、企業の方々等様々な人と積極的にコミュニケーションを取りながら、一緒に魅力ある学校作りに携わってみませんか。

【求める人物像】

- 現状に満足せず、より良い姿に変えるため日々改善・改革を実行できる人
- 困難な状況においても、忍耐強く課題に取り組むことができる人

■〒323-0806
 栃木県小山市大字中久喜771
 ■総務課総務係
 ☎ 0285-20-2116
 ■全教職員数(常勤)115名
 (うち 事務職員32名、
 技術職員11名)



58 独立行政法人国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校

ものづくりの夢と希望を持った学生達のお手伝いを一緒にしませんか!

本校は、5学科(機械、電子メディア、電子情報、物質、環境都市)、2専攻科(生産システム、環境)を設け、視野の広い創造的な技術者を育成しています。

事務職員は総務課と学生課に、技術職員は教育研究支援センターに配置され、学校運営等に携わっています。ものづくりの夢と希望を持った学生達の夢の実現に向けて、活気あふれる学校を一緒に作りましょう。

■〒371-8530
 群馬県前橋市鳥羽町580
 ■総務課人事係
 ☎ 027-254-9010
 ■全教職員数(常勤)112名
 (うち 事務職員25名、
 図書職員1名、技術職員13名)



59 独立行政法人国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校

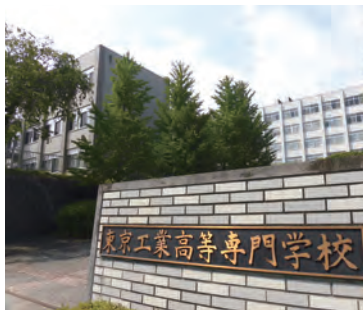
日本の未来を支える、若き力。 それを支えるのは、あなたです。

【求める人物像】

- 広い視野で、様々なことに積極的に取り組める方
- 学生に近いフレッシュな感覚を活かし、活気のある学校づくりに取り組んでくれる方
- 明るく、熱意をもって仕事に取り組める方

本校は、教職員の距離が非常に近く、風通しの良い職場です。さらに活気のある学校にするため、あなたの力を貸してください。是非、一緒に働きましょう!

■〒292-0041
 千葉県木更津市清見台東2-11-1
 ■総務課人事・労務係
 ☎ 0438-30-4007
 ■全教職員数(常勤)119名
 (うち 事務職員31名、
 技術職員13名)



60 独立行政法人国立高等専門学校機構
東京工業高等専門学校

ユニークな教育機関で働いてみませんか?

高専は15歳から5年間一貫教育を行うユニークな高等教育機関で、卒業生の就職率はほぼ100%となっており、産業界から高い評価を受けています。大学とは異なり、一人ひとりの携わる仕事が幅広いため、早くから多くの知識や経験を身につけることができる職場です。駅徒歩5分の都市型高専から、エンジニアが羽ばたく瞬間を共有しませんか?主体的に考え実行できる方の応募をお待ちしています。

■〒193-0997
 東京都八王子市栢田町1220-2
 ■総務課人事労務係
 ☎ 042-668-5115
 ■全教職員数(常勤)118名
 (うち 事務職員34名、
 技術職員13名)



61 独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校

人類の未来をきりひろく、
 感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

本校は、社会に求められ活躍できる人材を育成し続けています。研究、地域連携、国際交流等にも積極的に取り組んでおり、業務は学生の教育や課外活動支援のみならず多岐に渡ります。学生支援や社会貢献のため、社会のニーズを見極め常にアップデートしていくためには意欲的なあなたの力が必要です。本校は教職員に垣根がない働きやすい職場です。本校と一緒に未来を創っていきましょう!

■〒940-8532
 新潟県長岡市西片貝町888番地
 ■総務課人事係
 ☎ 0258-34-9313
 ■全教職員数(常勤)118名
 (うち 事務職員30名、
 技術職員15名)



62 独立行政法人国立高等専門学校機構
長野工業高等専門学校

優れた技術者は、優れた人間でなければならない

本校は、実践的技術者の養成を目的に設立された国立高専の一つとして昭和38年(1963年)に開校しました。

職員の組織は、事務部(総務課、学生課)及び技術支援部から構成され、本校が目指す教育理念の実現に向けて、学校運営に携わっています。

幅広い視点で考えて、責任感を持った仕事ができる環境です。そのような高専の仕事に対して、意欲的で向上心溢れた方をお待ちしております。

■〒381-8550
 長野県長野市大字徳間716
 ■総務課人事係
 ☎ 026-295-7004
 ■全教職員数(常勤)114名
 (うち 事務職員31名、
 技術職員14名)





63



特別な学校法人 放送大学学園

全ての人に開かれた、日本随一の生涯学習機関

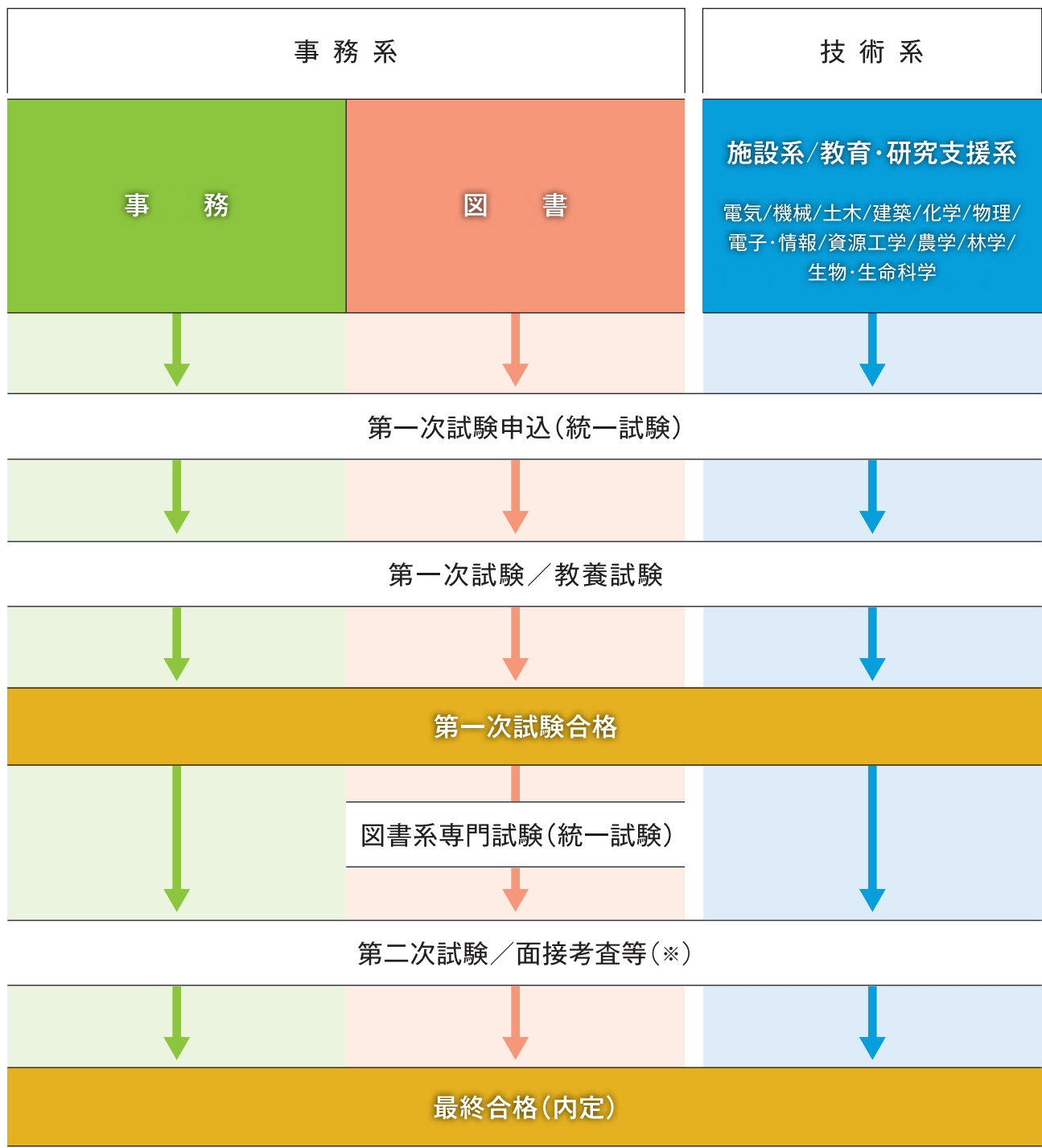
「放送大学学園法」に基づく特別な学校法人です。学園が設置する放送大学は、学びたい全ての人に開かれた生涯学習機関です。テレビ・ラジオ・インターネットを利用した遠隔授業、全国各地で行う面接授業等、場所や時間を問わない多様な教育方法により、学びの機会を提供しています。職員には、中長期的な視点に立って経営を担うことが求められ、やりがいのある仕事を任される機会が多くあります。

〒261-8586
千葉県千葉市美浜区若葉2-11
総務部総務課人事係
☎ 043-298-4210
全教職員数(常勤)332名
(うち 事務職員253名)



採用試験のプロセス

recruitment test process



※第二次試験は、機関ごとに実施するため、希望機関へ各自申込みが必要

勤務条件・福利厚生

working conditions & welfare

職員一人ひとりが安心して職務に専念できるよう、各機関は勤務環境の充実を図っています。

勤務条件(代表例)

勤務時間	原則として1日7時間45分(週38時間45分)となります。
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)となります。
主な休暇休業等	年次休暇：年間20日(初年は採用時期により異なります。4月採用は15日) 残日数は20日を限度として翌年に繰り越されます。 (付与日数と繰り越しを合わせて年間で最大40日) 特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、ボランティア休暇、忌引き等 病気休暇：病気やけがの療養のため、必要と認められる期間 育児休業：子供が3歳になるまでの間、男女問わず利用できます。ほかに、部分休業や短時間勤務制度もあります。 介護休業：配偶者、父母、子等が介護を必要とする場合に利用できます。
給与・手当	初任給は、大卒:月給196,200円となります(2024年10月1日現在・各種手当を除く)。学歴や採用前の職歴に応じ、決定します。 手当は、地域手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当(いわゆるボーナス。6月と12月の年2回支給)等があります。 昇給：原則年1回(1年間の勤務成績に応じて昇給します。)

福利厚生

健康保険年金等	文部科学省共済組合等に加入します。
健康管理	各機関では、健康診断の実施、人間ドックの助成を行っています。
宿舎	単身者用・世帯用の住宅を設置している機関もあります。
レクリエーション	機関内・他機関との交流のため、スポーツ大会やサークル活動などが行われています。
施設の利用	各機関の所有する体育館、グラウンド、テニスコート等の各種施設や附属図書館を利用できます。

※法人化により、職員の身分は「非公務員型」の法人職員となりました。

※各機関ごと、就業規則等により異なります。

ジョブローテーション

job rotation

人材の育成を目的として、約2～3年を目安に人事異動を行い、各業務部門を幅広く経験します。

→ P4,5 参照

研修制度

training system

自ら学ぶ意欲のある職員を支援する環境を整備しています。

階層別
研修

目的別
研修

自己啓発
支援

→ P23 参照

人事交流

personal exchange

幅広い視野を持った人材を育成するために、約1～3年の期間を定め、他機関での勤務や、文部科学省等への研修派遣も行っています。

※地方自治体や私立大学、民間企業等で勤務をする場合があります。

→ P23 参照



国立大学法人等職員 統一採用試験

【編集・発行】

関東甲信越地区

国立大学法人等職員採用試験事務室

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本部内)

TEL 03-5841-2769, 2770

<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

イラスト：水谷慶大